

KENWOOD

TV/DVDレシーバー

VD-01M

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



© PRINTED IN JAPAN B64-1790-30/01 (DT)

目次

3	ご使用の前に	
8	本機の基本操作	
	■パネルのボタンを操作する	8
	■リモコンで操作する（基本操作）	12
	■スクリーン設定画面を操作する	13
14	メニュー画面の操作	
15	セットアップ画面の操作	
	■セットアップメニュー画面を操作する	15
	■時計調整画面を操作する	16
	■タッチパネル調整画面を操作する	16
	■システム設定画面を操作する	17
	■DVD/VCD設定画面を操作する	20
	■言語選択画面を操作する	22
	■視聴規制設定画面を操作する	23
24	DVD映像時の操作	
27	VCD(ビデオCD)映像時の操作	
28	TV映像時の操作	
29	ソースコントロール	
	■ソースコントロール画面の共通操作	29
	■DVD/VCDコントロール画面を操作する	30
	■CDコントロール画面を操作する	32
	■リモコンでDVD/VCD/CDを操作する	34
	■TVコントロール画面を操作する	36
	■リモコンでTVを操作する	39
	■FM/AMコントロール画面を操作する	40
	■リモコンでFM/AMを操作する	43
	■ディスクチェンジャーコントロール画面を操作する	44
	■外部CDプレーヤーコントロール画面を操作する	48
	■外部CDプレーヤーコントロール<MP3>画面を操作する	50
	■カセットプレーヤーコントロール画面を操作する	53
	■リモコンでディスクチェンジャーやCDプレーヤー、 カセットプレーヤーを操作する	54
	■グラフィック画面を操作する	55
	■ネームセット画面を操作する	56
57	オーディオ/サラウンド/DSPの設定	
	■オーディオ設定メニュー画面を操作する	57
	■オーディオ設定画面を操作する	58
	■クロスオーバー設定画面を操作する	60
	■デジタル効果設定画面を操作する	61
	■チャンネルレベル設定画面を操作する	62
	■パラメトリックイコライザー設定画面を操作する	62
	■ディレイ時間設定画面を操作する	63
	■ポジション設定画面を操作する	64
	■クイックエフェクト画面を操作する	64
	■DSPコントロール画面を操作する	65
66	故障かな?と思ったら	
68	保証とアフターサービス	

本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。実際の画面とは異なります。

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用の前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告



実施

前方不注意による交通事故などを防ぐため、ナビゲーション画面を注視する時間は、必要最小限(1秒以内)としてください。

また、以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・テレビやビデオを見る
- ・登録や各設定などの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品を車載用以外の用途で使用しないでください。

注意



注意

モニターディスプレイの開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

ご使用の前に

安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

本機からタッチコントロールできるナビゲーションユニット

本機のタッチパネルで操作できるナビゲーションユニットは下記の通りです。(2001年3月現在)

DVZ-2201、DVZ-2200、DVZ-2000

※ルートガイドは本機の割り込み機能で聴くことができますが、その他のガイドやハンズフリー音声は聴くことができません。別売品のアクティブSP"KNA-SP100"をご使用ください。

本機からタッチコントロールできるオーディオユニット

本機のタッチパネルで操作できるオーディオユニットは下記の通りです。(2001年3月現在)

MZ-BUSシステム：

D929、D919、D909、D707、X909、X707、C929、C919、C910、C710、C906、C706、P707

5LコネクタータイプCDプレーヤー/ディスクチェンジャー：

KDC-C510、KDC-C410、KDC-C406、KDC-C310、KDC-C306、KMD-C30、RJ-480、RD-380、RD-360などO-Nスイッチが付いているCDプレーヤー/ディスクチェンジャー(O-NスイッチはNに設定してください)

バッテリー上がりを防ぐため

エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因になります。エンジンをかけてご使用ください。

モニターの保管とお手入れ

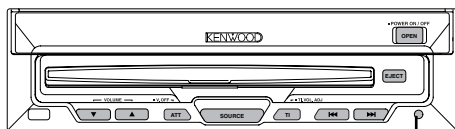
- モニターをオープンした状態で、高温の場所に放置しないでください。
- 本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

低温時の画面の明るさについて

冬季など本機の温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。本機の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

リセットボタンについて

- 取り付け直後やバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。
 - ご使用中にセットの異常にお気づきのときは、リセットボタンを押してください。
- それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの再生ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

リモコンの電池の入れかた

付属の電池(単四型2本)を+/-の向きを正しく合わせて入れてください。

注意

リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。

- 電池の向きは正しく合わせてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池を交換するときは、2本同時に交換してください。

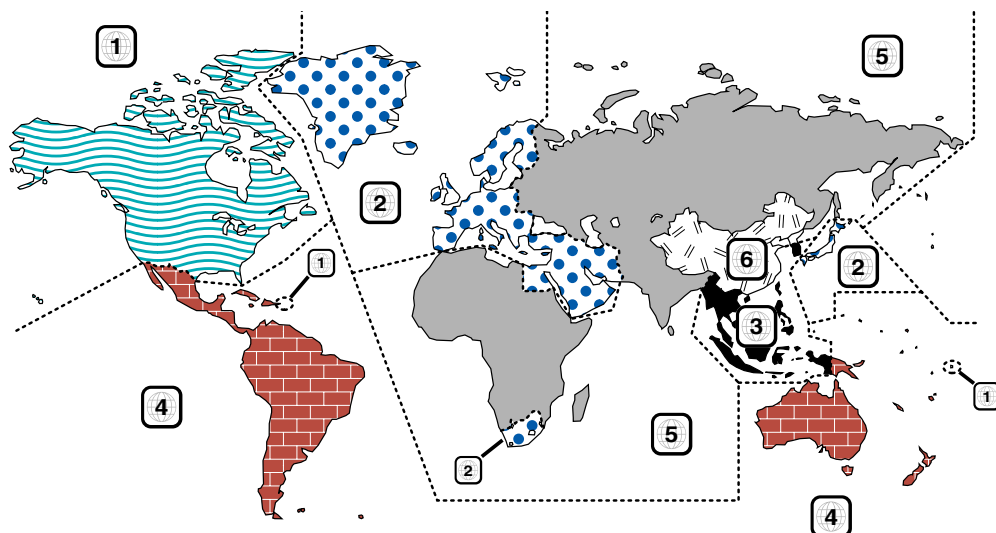
※ 本機は、マクロピジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロピジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロピジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

※ ドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号、およびプロロジックはドルビーラポラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

※ DTSは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。



DVDディスクのマーク

記号	内容
	このマーク付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で観ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

本機で再生できないディスク

以下のディスクは本機では再生できません。

- MP3ファイルで記録されたディスク
- DVD-ROM / DVD-R / DVD-RW / DVD-RAM
- S-VCD / HQ-VCD
- CDV（音声のみ再生可能）
- CD-G / CD-EG / CD-EXTRA（音声のみ再生可能）
- フォトCD

操作規制マークについて

DVDやVCDディスクは、再生箇所により本機でのプレイ操作等規制される場合があります。このようなときは以下のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクの取扱説明書をご覧ください



ご使用の前に

用語

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

PBC (プレイバックコントロール)

本機は、プレイバックコントロール (PBC) 付き対応ビデオCD (バージョン2.0) に対応しています。

PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

ドルビーデジタル

ドルビー研究所の開発したデジタル音声の圧縮技術です。5.1チャンネル・サラウンドに対応しています。すべてのチャンネルを完全に分離した形で記録されているため、大量の音声データを効率良くディスクに収められ、またデジタルのため劣化しにくい特長があります。

※ドルビーデジタルを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-01"が必要です。

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

※DTSサラウンドを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-01"が必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをご使用ください。

ドルビープロロジック

ドルビーサラウンドの方式で2チャンネルに記録された4チャンネル信号を再生時に再び4チャンネル (フロントL/R、センター、リアサラウンド (モノラル)) の信号に戻すための装置です。

※ドルビープロロジックを楽しむには別売品のDVDサラウンドプロセッサー"DS-01"が必要です。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

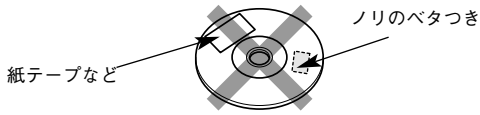
視聴規制 (パレンタルロック)

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

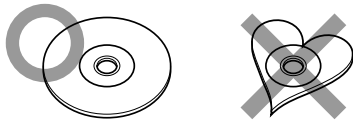
使用できないディスク

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

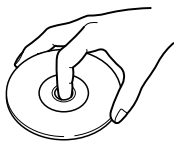
ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）

このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）



CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

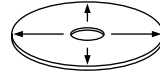
ディスクの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。

特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

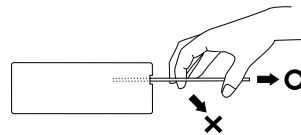
ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。

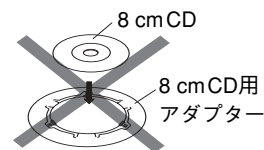


ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

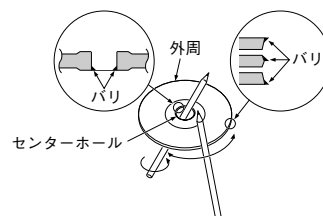


市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。本機で8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



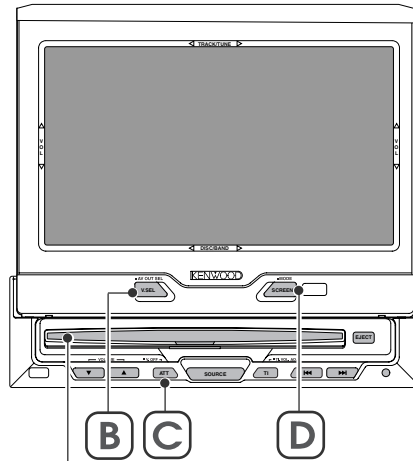
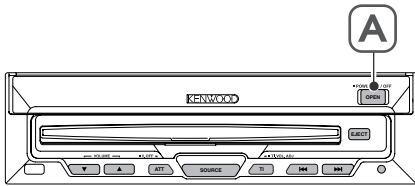
新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



本機の基本操作

■ パネルのボタンを操作する



ディスク挿入口

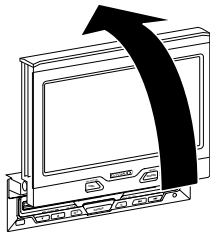
モニターのオープン/クローズ

1 モニターを出します



2 見やすいアングル位置にします

見やすい位置にモニターパネルを起こします。



- パーキングブレーキをセットしないと、モニターはオープンしません。
- モニターがオープンする際に、シフトレバーなどにモニターが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。(障害物に当たりモニターが正常にオープンできない場合、保護機能が働きモニターは自動的にクローズします。)
- 手で無理にモニターを引き出したり、押し込んだりしないでください。故障の原因になります。

モニターをクローズします

モニターを水平位置に戻します。
水平位置になると、自動的にモニターが収納されます。

電源のオフ

本機の電源を切ります。



電源がオフになるまで押し続けます。

電源をオンするときは・・・



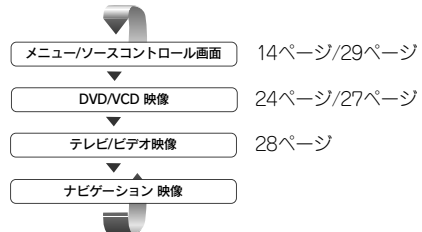
押すと電源がオンになります。

モニターの映像を切り替える

本機のモニターの映像を切り替えます。



押すたびに、映像が以下のように切り替わります。



- パーキングブレーキをセットしないと、テレビやビデオ、DVD、VCDの映像は映りません。

モニター映像をオフにする

本機のモニター映像を一時的にオフにします。



映像がオフになるまで押し続けます。

映像をオンするときは・・・



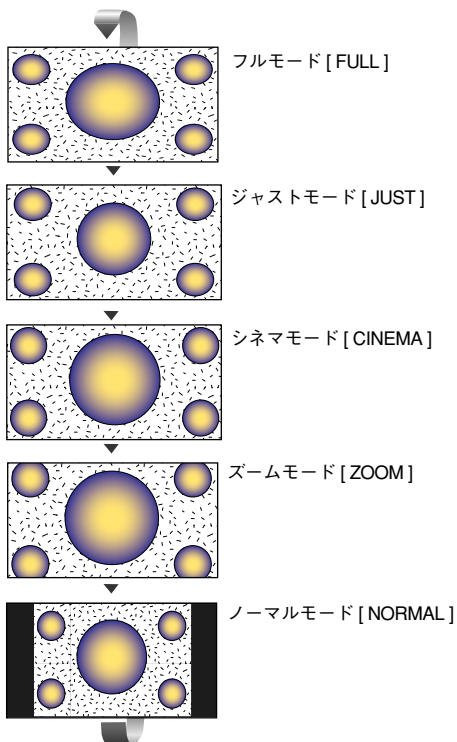
V.SELまたはSCREENボタンを押すと映像映し出されます。

モニターの画面モードを切り替える

モニターの画面モードを選択します。



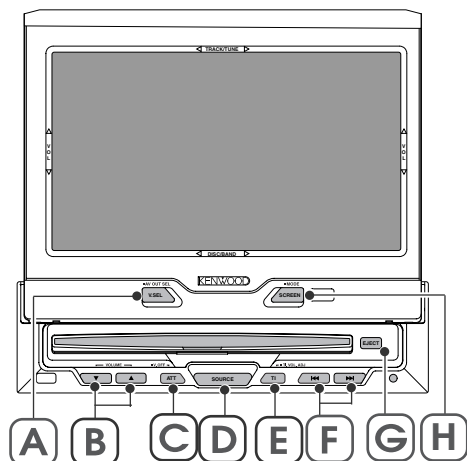
1秒以上押すたびに、画面モードが以下のように切り替わります。



- ナビゲーション映像や本機内蔵の画面（ソースコントロール画面など）はフルモード固定になります。
- 画面モードはテレビ、ビデオ、DVD/VCD映像ごとに設定できます。

本機の基本操作

■ パネルのボタンを操作する

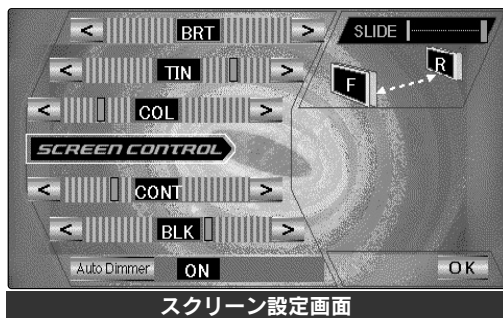


■ スクリーン設定画面の表示

画質調整やモニターの前後位置を設定する画面を映像上に表示します。



押すと、映像上にスクリーン設定画面が表示されます。



スクリーン設定画面

スクリーン設定画面の操作は13ページをご覧ください。

■ 音量の調整

スピーカーの音量を調整します。



押すたびに音量が大きくなります。



押すたびに音量が小さくなります。

■ アッテネータ

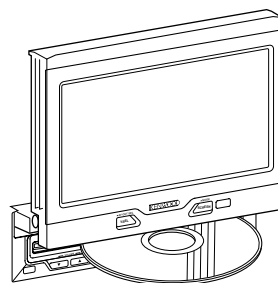
音量を素早く小さくする。



押すたびにアッテネータ機能がオン/オフします。

- アッテネータ機能がオンになるとソースコントロール画面やオンスクリーン情報にATTインジケータが点灯します。
- 音量を最小にするとアッテネータ機能は解除されます。

■ ディスクの挿入



レーベル面を上にしてディスクを挿入します。

- ディスクがセットされると、ソースコントロール画面やオンスクリーン情報にINインジケータが表示されます。

! すでにディスクがセットされている時に、別のディスクを挿入しないでください。ディスクに傷が付く場合があります。

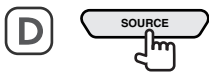
■ ディスクの取り出し



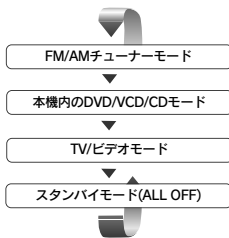
押すと、ディスクがイジェクトされます。

音声ソースを切り替える

聴く音声ソースを切り替えます。



押すたびに以下のように音声ソースが切り替わります。



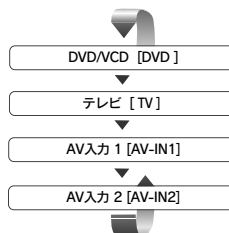
- 別売品のCDプレーヤー、ディスクチェンジャーを接続しているときは、切り替えにそれらのソースモードが追加されます。
- 音声ソースはメニュー画面（14ページ）からも選択できます。

AV出力を切り替える

AV出力端子に接続した後部座席用モニターなどの映像/音声を本機のモニターの映像/音声とは別に選択できます。



1秒以上押すたびに、AV出力端子の映像/音声が以下のように切り替わります。



交通情報の受信

交通情報に切り替える



押すたびに交通情報受信がオン/オフします。

- ソースコントロール画面表示時には、交通情報コントロール画面（42ページ）が表示されます。

受信周波数を切り替える



1620KHz、1629KHz、522KHzに切り替わります。

交通情報の音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報を受信します



2 設定したい音量にします



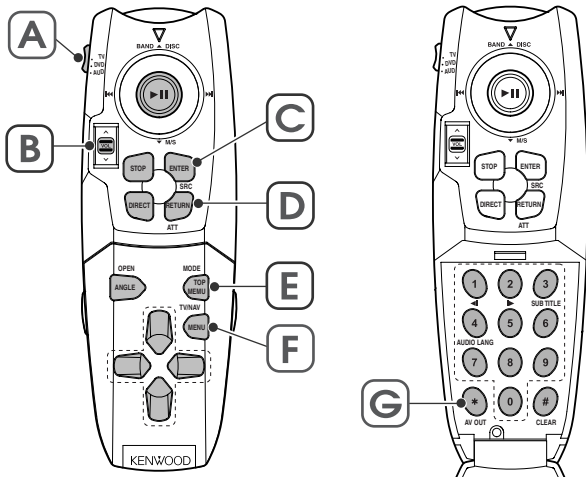
3 音量をメモリーします



2秒以上押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的に、この設定した音量になります。

本機の基本操作

リモコンで操作する (基本操作)



モードスイッチの設定

使用するモードによりスイッチの位置を切り替えます。



使用するモードによりスイッチのポジションを切り替えます。

- < TV > : TVを操作するときの位置。
- < DVD > : 本機にセットしたディスク(DVD/VCD/CD)を操作するときの位置。
- < AUD > : FM/AMチューナーや本機に接続したCDプレーヤーやディスクチェンジャー、カセットプレーヤーを操作するときの位置。

音量の調整 < TV/DVD/AUD >

- B** ↑方向に動かすたびに音量が大きくなります。
- ↓方向に動かすたびに音量小さくなります。

アッテネータ < TV/AUD >

- D** RETURN 押すたびにアッテネータ機能がオン/オフします。

モニターの映像を切り替える < TV/AUD >

- F** MENU 押すたびに映像が切り替わります。

モニターの画面モードを切り替える < TV/AUD >

- E** TOP MENU 押すたびに画面モードが切り替わります。

音声ソースを切り替える < TV /AUD >

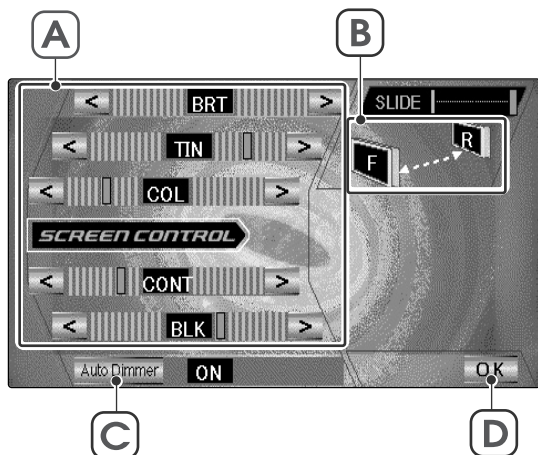
- C** ENTER 押すたびに音声ソースモードが切り替わります。

AV出力を切り替える < TV/DVD/AUD >

- G** * 押すたびにAV出力の映像/音声切り替わります。

各ソースモードでのリモコン操作は各ソースモードの説明をご覧ください。

■ スクリーン設定画面を操作する



画質の調整

画面の明るさ、色合いなどを調整します。



左右のキーをタッチするたびに設定が変わります。

明るさを調整する [BRT]

画面の明るさを調整します。

画面が暗くな 画面が明るくなります。

● お買い上げ時は一番明るい状態に設定されています。

色合いを調整する [TIN]

画面の肌色を調整します。

画面の赤が強 画面の緑が強くなります。

● 本機内蔵の設定画面やDVD/VCD映像、ナビゲーション映像時(インターフェースケーブル接続)は調整できません。

色の濃さを調整する [COL]

画面の色の濃さを調整します。

画面の色が薄 画面の色が濃くなります。

● 本機内蔵の設定画面やDVD/VCD映像、ナビゲーション映像時(インターフェースケーブル接続)は調整できません

コントラストを調整する [CONT]

画面のメリハリを調整します。

メリハリが弱 メリハリが強くなります。

黒レベルを調整する [BLK]

映像が見る角度により明暗が反転したり、白っぽくなったりにする場合に調整します。

画面が黒っぽ 画面が白っぽくなります。

オートディマーの設定 [DIM]

オートディマー機能を使用すると、周囲の明るさにより自動的にモニターの明るさがかわります。



タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」 : オートディマー機能がオンになります。

「OFF」 : オートディマー機能がオフになります。

モニターの前後位置を設定する

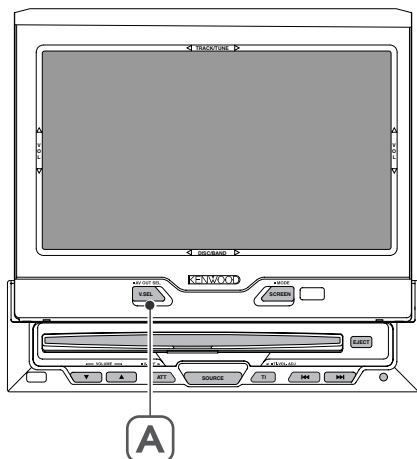
モニターがオープンしたときの前後の位置を2段階から選択します。



スクリーン設定画面の終了



メニュー画面の操作



メニュー画面の表示



押すたびにモニターの映像が切り替わります。メニュー画面が表示されるまで押します。(初めて使用したときはメニュー画面を表示します。)

セットアップメニュー画面の表示



タッチするとセットアップメニュー画面に切り替わります。(15ページ)

オーディオ設定メニュー画面の表示



タッチするとオーディオ設定メニュー画面に切り替わります。(57ページ)

音声ソースを選択する

ソースアイコンからソースコントロール画面を選択します。



各ソースアイコンにタッチする。



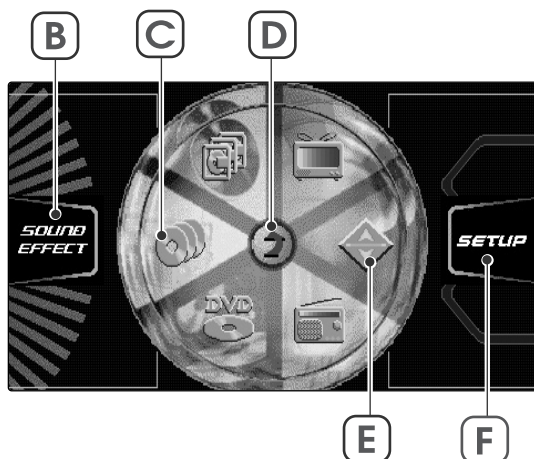
: FM/AMチューナーコントロール画面に切り替わります。(40ページ)



: TV (またはビデオ) コントロール画面に切り替わります。(36ページ)



: 本機にセットされたディスクのコントロール画面に切り替わります。(30ページ)



: 外部CDプレーヤーのコントロール画面に切り替わります。(48ページ/50ページ)



: CDチェンジャーのコントロール画面に切り替わります。(44ページ)



: MDチェンジャーのコントロール画面に切り替わります。(44ページ)



: カセットプレーヤーのコントロール画面に切り替わります。(53ページ)



: AUX音声画面に切り替わります。



: スタンバイ(ALL-OFF)画面に切り替わります。



● 外部CDプレーヤーやディスクチェンジャー、カセットプレーヤーのアイコンは別売品のCDプレーヤー、ディスクチェンジャー、カセットプレーヤー接続時に表示されます。

● AUXアイコンは別売品のCD/MDスイッチングユニット "KCA-S210A" や外部RCA入力ケーブル"CA-1X" 及びCDプレーヤー"D929"/"D919" が接続されている場合に表示が可能になります。

ソースアイコンを切り替える

選択できるソースアイコンが7つ以上ある場合は、表示させるソースアイコンを切り替えます。



タッチするたびに、表示するソースアイコンが切り替わります。

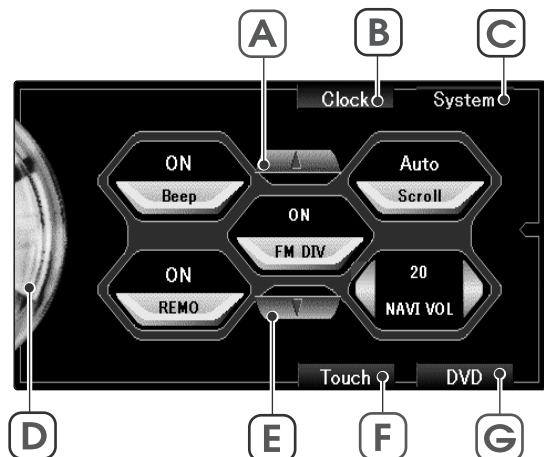
現在のソースコントロール画面に戻る



タッチすると、現在選択しているソースのコントロール画面に切り替わります。

セットアップ画面の操作

■ セットアップメニュー画面を操作する



システム設定画面に切り替える

システムの機能を設定します。



タッチするとシステム設定画面に切り替わります。
(17ページ)

時計調整画面に切り替える

時計を調整します。



タッチすると時計調整画面に切り替わります。
(16ページ)

DVD/VCD設定画面に切り替える

DVDやVCDの機能を設定します。



タッチするとDVD/VCD設定画面に切り替わります。
(20ページ)

● DVDやVCDを再生中および一時停止中はDVD/VCD設定画面へは切り替わりません。DVD/VCDコントロール画面またはリモコンで再生を停止させてから操作してください。
(30ページ/34ページ)

タッチパネル調整画面に切り替える

タッチパネルの精度を調整します。



タッチするとタッチパネル調整画面に切り替わります。
(16ページ)

設定ページを切り替える



[▼] キーにタッチすると次の設定ページに切り替わります。
[▲] キーにタッチすると前の設定ページに戻ります。

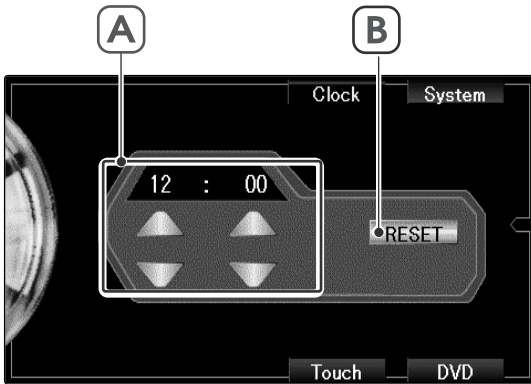
メニュー画面に戻す



画面左部のアイコンにタッチするとメニュー画面に戻ります。

セットアップ画面の操作

■ 時計調整画面を操作する

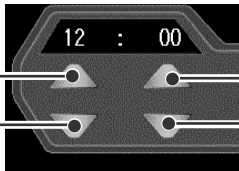


時計の調整

A

タッチするたびに
“時”が進みます。

タッチするたびに“分”
が進みます。



タッチするたびに“時”
が戻ります。

タッチするたびに“分”
が戻ります。

分を“00”にする

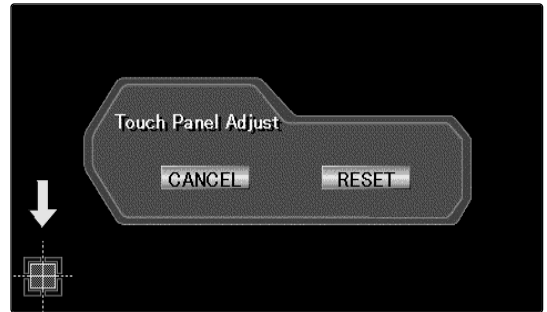


タッチすると分表示が“00”になります。

- “分”が30分以上の場合は、下記のように時間がくり上がった“00”分になります。

- 例
- 1:00PM ~ 1:29PM → 1:00PM
 - 1:30PM ~ 1:59PM → 2:00PM

■ タッチパネル調整画面を操作する



タッチパネルの調整

1 左下のマークへ正確にタッチします



右上にマークが表示されます。

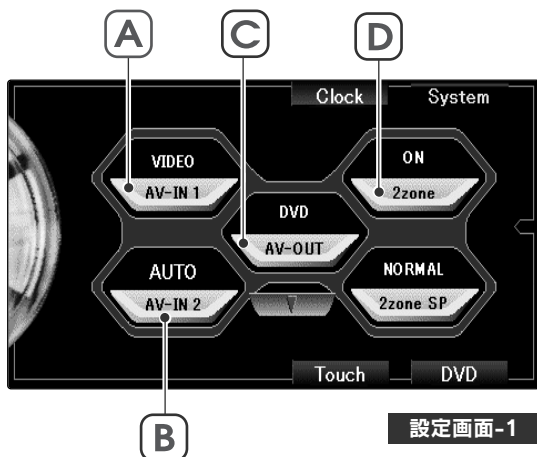
2 右上のマークへ正確にタッチします



調整を終了して、セットアップメニュー画面に戻ります。

- 左下のボタンにタッチしないで [CANCEL] にタッチした場合は何も補正しないでセットアップメニュー画面に戻ります。
- 左下のボタンにタッチした後に [CANCEL] へタッチすると、左下のボタンが再度表示されます。
- [RESET] にタッチすると、お買い上げ時の設定になりセットアップメニュー画面に戻ります。

■ システム設定画面を操作する



設定画面-1

AV入力-1の設定

AV-IN 1端子に接続した機器に合わせた設定をします。



タッチするたびに設定が変更されます。

「Navigation」：AV入力-1端子にナビゲーションユニットを接続している場合。

「Video」：AV入力-1端子にビデオカセットデッキなどを接続している場合。

AV入力-2の設定

AV-IN 2端子に接続した機器に合わせた設定をします。



タッチするたびに設定が変更されます。

「Back Camera」：AV入力-2端子に後方視界確認カメラを接続している場合。V.SELボタンでのモニター映像切り替え時に後方視界確認カメラの映像が追加されます。

「Normal」：AV入力-2端子にビデオカセットデッキなどを接続している場合。

AV出力の設定

AV-OUT端子から出力する映像/音声を選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「DVD」：DVD/VCDの映像/音声を出力します。

「TV」：テレビの映像/音声を出力します。

「AV-IN1」：AV-IN 1端子に接続した機器の映像/音声を出力します。

「AV-IN2」：AV-IN 2端子に接続した機器の映像/音声を出力します。

2ゾーンモードのオン/オフ

<DVDサラウンドプロセッサー" DS-01 " 接続時>

ソース選択した音声とAV出力で選択している音声をフロント/リアスピーカーから別々に聴くことができます。



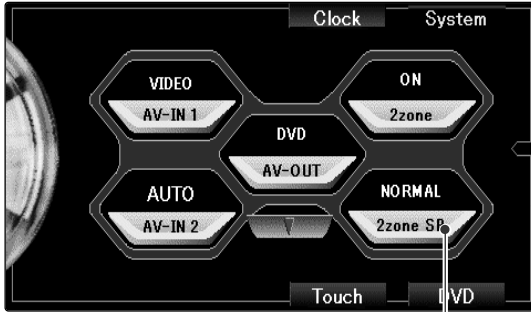
タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」：フロント/リアスピーカーの音声を別々に設定が可能。

「OFF」：フロント/リアスピーカーは選択されているソースの音声になります。

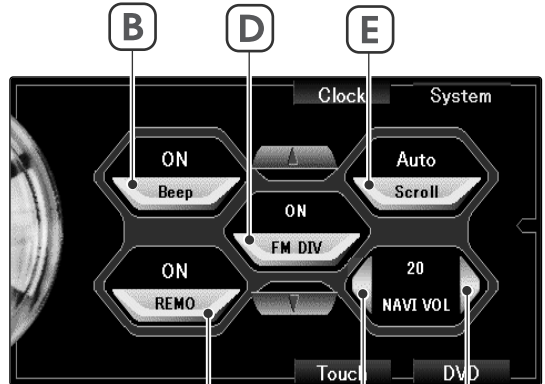
セットアップ画面の操作

■ システム設定画面を操作する



設定画面-1

A



設定画面-2

C

F

2ゾーンモード時のスピーカー選択

<DVDサラウンドプロセッサー" DS-01 " 接続時>

2ゾーンモードがオン時にフロント/リアスピーカーから聴く音声を選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「Normal」：フロントスピーカー：選択しているソースの音声
リアスピーカー：AV出力の音声

「Reverse」：フロントスピーカー：AV出力の音声
リアスピーカー：選択しているソースの音声

● 「2zone」が"OFF"に設定されている場合はこの設定項目表示されません。

ビープ音の設定

本機やリモコンを操作したときの操作確認音（ビープ音）を鳴らすか鳴らさないかを選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」：ビープ音が鳴ります。

「OFF」：ビープ音は鳴りません。

リモコンセンサーの設定

他のテレビをリモコンで操作時に本機のチャンネルなどが変わってしまう場合に、リモコンからのテレビ関連の操作のみを禁止することができます。



タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」：リモコンで操作できます。

「OFF」：TV関連のリモコン操作を禁止します。

FMダイバシティの設定

FMダイバシティでアンテナを接続している場合に設定します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」：FMダイバシティ機能がオンします。

「OFF」：FMダイバシティ機能はオフになります。

● FMダイバシティ接続をしていない場合は"OFF"に設定してください。"ON"に設定すると放送音声にノイズが入る場合があります。

CDテキスト/MDタイトル表示の設定

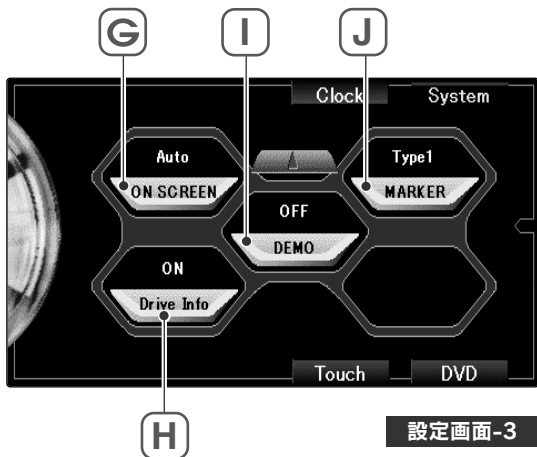
CDテキスト/MDタイトルのスクロール表示方法を設定します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「Manual」：ディスクや曲が変わった時に1回スクロール表示します。

「Auto」：常に繰り返しスクロール表示します。



ナビゲーション割り込み音声の設定

ルートガイドのナビゲーション音声割り込み時の音量を設定します。



右キーにタッチするたびに音量が上がります。
左キーにタッチするたびに音量下がります。

- ガイド音声の割り込みは、KENWOODナビゲーションユニットをIFケーブルで接続している場合に機能します。
- ナビゲーション音声はフロントスピーカーから出力されます。
- 踏切案内等のルートガイド以外の音声やハンズフリー音声は割り込みません。ルートガイド以外の音声を出したいときは、別売品のアクティブスピーカー"KNA-SP100"をご使用ください。
- プリアウト端子からはナビゲーション音声は出力されません。
- ALL OFFモード中はガイド音声の割り込みはできません。

オンスクリーン表示の設定

TVやDVD/VCD映像上の情報表示方法を設定します。



タッチするたびに設定が変更されます。

- 「Auto」：本機やリモコンを操作したり、ディスクや曲が替わりと自動的に情報を表示します。
- 「Manual」：モニターの中央下部にタッチすると、一時的に情報を表示します。

グラフィック画面上の情報表示の設定

グラフィック画面時の情報表示を設定します。



タッチするたびに設定が変更されます。

- 「ON」：情報も表示します。
- 「OFF」：情報は表示しません。

デモンストレーション

ソースコントロール画面/全面グラフィック画面など内蔵画面の背景パターンを自動的に切り替えて表示します。



タッチするたびに設定が変更されます。

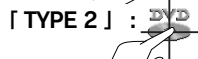
- 「ON」：デモンストレーション機能がオンします。
- 「OFF」：デモンストレーション機能を解除します。

ポイントマーカ表示タイプの選択

ポイントマーカ表示のタイプを選択します。



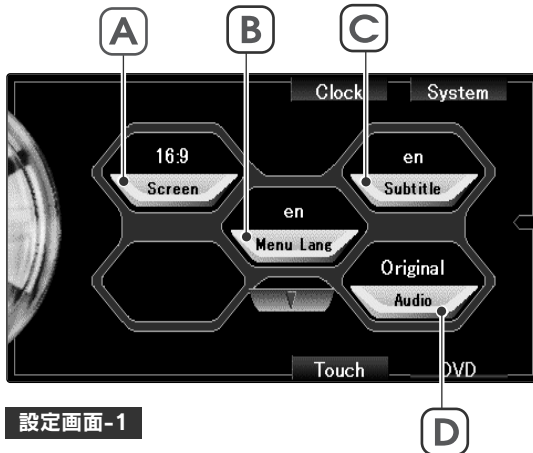
タッチするたびに設定が変更されます。



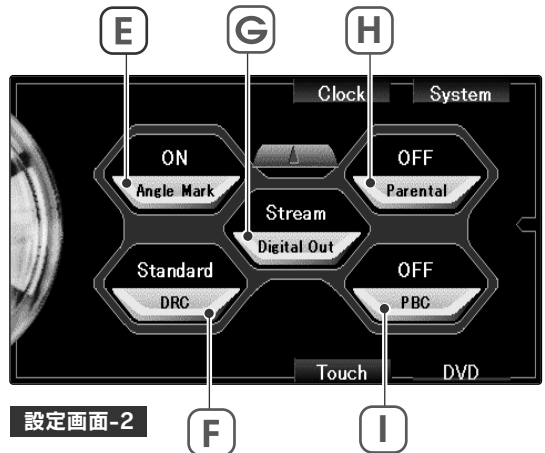
- 「OFF」：ポイントマーカ表示を解除します。

セットアップ画面の操作

DVD/VCD設定画面を操作する



設定画面-1



設定画面-2

画面モードの設定



タッチするたびに設定が変更されます。

「16:9」：ワイド版の映像の場合。

「4:3 LB」：レーターボックス方式(上下に黒い帯がある画面)でワイド版の映像を再生する場合。

「4:3 PS」：パン&スキャン方式(左右の切れた画面)でワイド版の映像を再生する場合。

● ディスクによっては設定した画面モードにならない場合があります。

メニューの優先言語設定

ディスクメニューで優先的に表示したい言語を選択します。



タッチすると言語選択画面に切り替わります。(22ページ)

● ディスクによっては優先言語を設定しても、その言語に切り替わらない場合があります。

字幕の優先言語設定

字幕で優先的に表示したい言語を選択します。



タッチすると言語選択画面に切り替わります。(22ページ)

● ディスクによっては優先言語を設定しても、その言語に切り替わらない場合があります。

音声の優先言語設定

音声で優先的に出したい言語を選択します。



タッチすると言語選択画面に切り替わります。(22ページ)

● ディスクによっては優先言語を設定しても、その言語に切り替わらない場合があります。

アングルマーク表示の設定

マルチアングルで記録された場面時のアングルマーク表示を設定します。



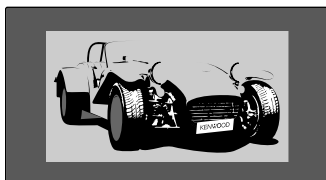
タッチするたびに設定が変更されます。

「ON」：アングルマークを表示します。

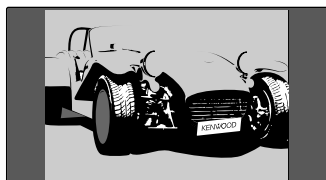
「OFF」：アングルマークは表示しません。

● アングルマークについては24ページをご覧ください。

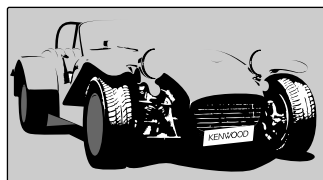
" 4:3 LB "



" 4:3 PS "



" 16:9 "



ダイナミックレンジの設定

小音量でも聴きやすくします。



タッチするたびに設定が変更されます。

「Standard」：より大きい音声のレベルを抑圧します。

「Midnight」：大きい音声のレベルを抑圧します。

「OFF」：通常のダイナミックレンジになります。

● ドルビーデジタルのソフト以外では設定されません。

光デジタル出力の設定

本機からのデジタル音声出力の設定をします。



タッチするたびに設定が以下のように変更されます。

音声記録 フォーマット	光デジタル音声出力	
	「Stream」	「PCM」
ドルビーデジタル	ドルビーデジタル	PCM48 kHz /16 bit
リニアPCM(96 kHz) リニアPCM(48 kHz)	コピーガード有 : PCM 48 kHz /16 bit コピーガード無 : PCM 48 /44.1 kHz /24,20,16 bit	
MPEG	PCM 48 kHz, 44.1 kHz /16 bit	
DTS	DTS	出力しません

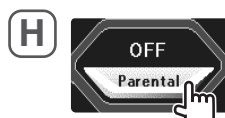


注意

- DTS/ドルビーデジタルで記録された信号を聴くにはDVDサラウンドプロセッサ"DS-01"の接続が必要です。
- DVDサラウンドプロセッサ"DS-01"を接続していない場合、DTSの信号がデジタルノイズでオーディオ出力出ます。このとき音量を上げたりするとスピーカー等の破損や人体に影響をきたしますので、ご注意ください。

視聴規制設定画面を表示する。

お子様などに見せたくない映像を制限することができます。



タッチすると視聴規制設定画面に切り替わります。
(23ページ)

PBC (プレイバックコントロール) の設定

ビデオCDバージョン2.0のPBC機能をオン/オフします。



タッチするたびに設定が変更されます。

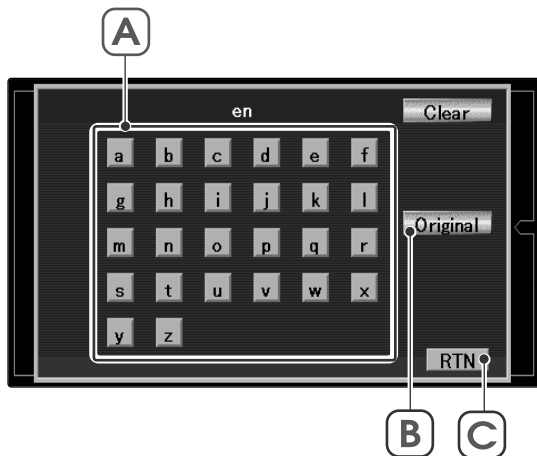
「ON」：PBC機能がオンになります。

「OFF」：PBC機能がオフになります。

● PBC機能についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

セットアップ画面の操作

言語選択画面を操作する



言語の選択

1 言語記号を入力します



言語記号一覧表を見て記号を入力します。

● コードを間違えたときは [Clear] キーにタッチしてください。最後の文字が消去されます。

2 DVD/VCD設定画面に戻します



オリジナル言語へ戻す

音声をオリジナルの言語へ戻します。

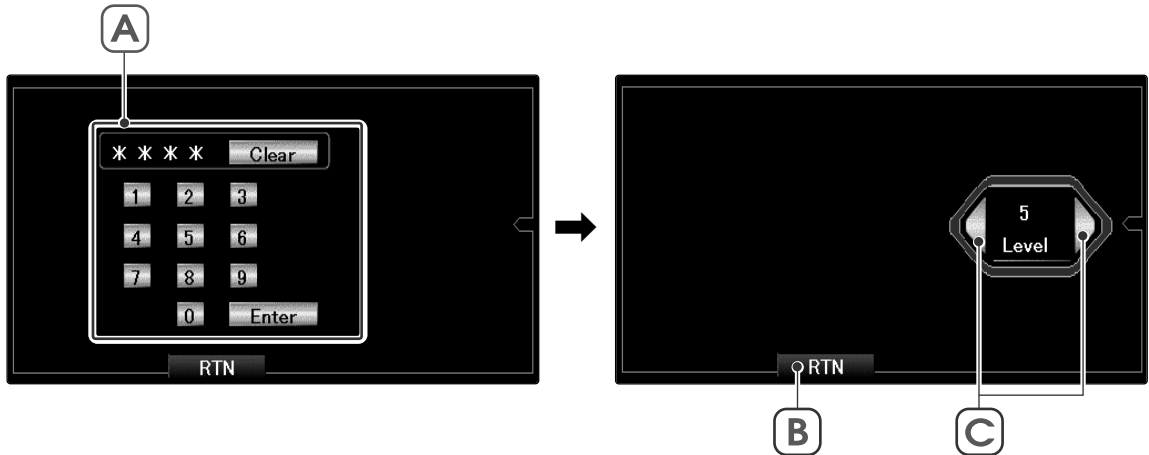


● ディスクメニューや字幕の言語選択では [Original] キーは表示されません。

言語記号一覧表

記号	言語	記号	言語
aa	アフガル語	lv	ラトビア語、レット語
ab	アブバジア語	mg	マダガスカル語
af	アフリカーンス語	mi	マオリ語
am	アムハラ語	mk	マケドニア語
ar	アラビア語	ml	マラヤーラム語
as	アッサム語	mn	モンゴル語
ay	アイマラ語	mo	モルダビア語
az	アゼルバイジャン語	mr	マラータ語
ba	バシキール語	ms	マレー語
be	ベラルーシ語	mt	マルタ語
bg	ブルガリア語	my	ミャンマー語
bh	ビハーリー語	na	ナウル語
bi	ビスラマ語	ne	ネパール語
bn	ベンガル語、バングラ語	nl	オランダ語
bo	チベット語	no	ノルウェー語
br	ブルトン語	oc	プロバンス語
ca	カタロニア語	om	(アフアン) オロモ語
co	コルシカ語	or	オリヤー語
cs	チェコ語	pa	パンジャブ語
cy	ウェールズ語	pl	ポーランド語
da	デンマーク語	ps	パシュトー語
de	ドイツ語	pt	ポルトガル語
dz	ブータン語	qu	ケチュア語
el	ギリシャ語	rm	ラエティ=ロマン語
en	英語	rn	キルンディ語
eo	エスペラント語	ro	ルーマニア語
es	スペイン語	ru	ロシア語
et	エストニア語	rw	キニヤルワンダ語
eu	バスク語	sa	サンスクリット語
fa	ペルシャ語	sd	シンド語
fi	フィンランド語	sg	サンゴ語
fj	フィジー語	sh	セルビアクロアチア語
fo	フェロー語	si	シンハラ語
fr	フランス語	sk	スロバキア語
fy	フリジア語	sl	スロベニア語
ga	アイルランド語	sm	サモア語
gd	スコットランドゲール語	sn	シヨナ語
gl	ガルシア語	so	ソマリ語
gn	グアラニ語	sq	アルバニア語
gu	グジャラート語	sr	セルビア語
ha	ハウサ語	ss	シスワティ語
hi	ヒンディー語	st	セストゥ語
hr	クロアチア語	su	スンダ語
hu	ハンガリー語	sv	スウェーデン語
hy	アルメニア語	sw	スワヒリ語
ia	国際語	ta	タミール語
ie	国際語	te	テルグ語
ik	Inupiak語	tg	タジク語
in	インドネシア語	th	タイ語
is	アイスランド語	ti	ティグリニャ語
it	イタリア語	tk	トゥルクメン語
iw	ヘブライ語	tl	タガログ語
ja	日本語	tn	セツワナ語
ji	イディッシュ語	to	トンガ語
jw	ジャワ語	tr	トルコ語
ka	グルジア語	ts	ツォンガ語
kk	カザフ語	tt	タタール語
kl	グリーンランド語	tw	トワイ語
km	カンボジア語	uk	ウクライナ語
kn	カンナダ語	ur	ウルドゥー語
ko	韓国語	uz	ウズベク語
ks	カシミール語	vi	ベトナム語
ku	クルド語	vo	ボラビュク語
ky	キルギス語	wo	ウォロフ語
la	ラテン語	xh	コーサ語
ln	リンガラ語	yo	ヨルバ語
lo	ラオス語	zh	中国語
lt	リトアニア語	zu	ズール語

視聴規制設定画面を操作する



視聴規制レベルの設定

1 パスワードを入力する



4桁のパスワードを入力します。

- 入力した番号がパスワードになります。
- 間違えた場合は [Clear] キーにタッチします。入力した番号は消去されます。

2 パスワードを登録します



パスワードが登録され、規制レベル設定項目が表示されます。

3 規制レベルを設定します



左右のキーにタッチするたびに設定が変わります。

「8」 - 「1」

数字が大きいほど規制レベルが高くなります。

「OFF」

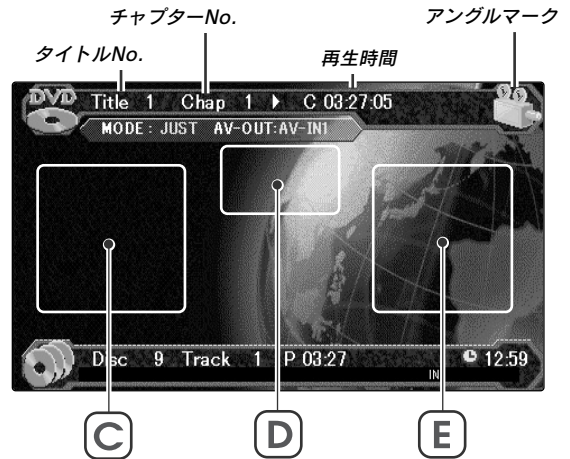
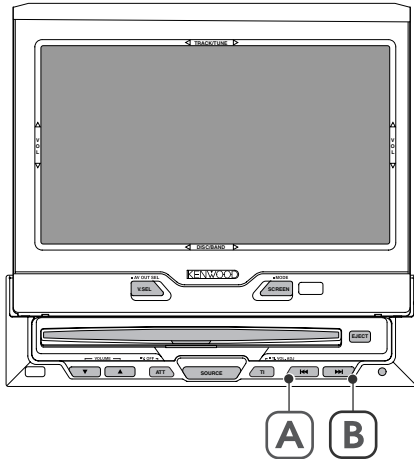
規制を解除します。

- 本機のリセットボタンを押すと、登録したパスワードは消去されます。
- 規制レベルを変更する際はパスワードを入力してください。
- 再生している場面が設定した規制レベルより高い場合は、視聴規制設定画面が表示されます。パスワードを入力しないと、再生が継続されず、別のレベルの映像が再生されます。
- 規制のレベルはディスクにより異なります。
- 視聴規制のないディスクでは視聴規制を設定しても、再生は制限されません。

4 DVD/VCD設定画面に戻します



DVD映像時の操作



チャプターサーチ

チャプターを切り替えます。

先のチャプターへ送る

E 画面の右部分にタッチします。
または



タッチまたは押すたびに先のチャプターに切り替わります。

前のチャプターへ送る

C 画面の左部分にタッチします。
または



1回タッチまたは押すと現在のチャプターの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のチャプターに切り替わります。

- ディスクによっては、チャプター番号順に切り替わらない場合があります。
- 音声はDVD以外のソースの場合は、パネルのボタンを操作すると、そのソースの操作になります。(例：音声はテレビの場合はチャンネルの切り替えになります。)

DVDメニュー画面の表示

ディスクメニューを操作するキーを表示します。

D 画面の中央上部分にタッチします。

DVDメニュー画面が表示されます。

DVDメニュー画面を取り消す



ディスクメニューの操作

ディスクに記録されているメニューを操作します。

メニューコントロール画面を表示する



メニューコントロール画面が表示されます。



メニューを表示する

[MENU] キーにタッチする。

メニュー項目を選ぶ

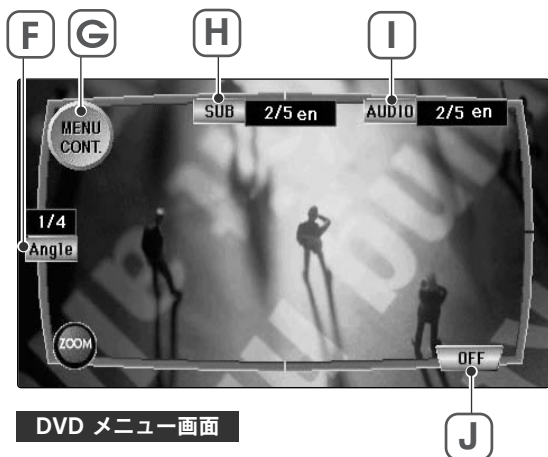
[△]、[▽]、[<]、[>] キーにタッチする。

メニューを確定する

[ENT] キーにタッチする。

メニューに戻る

[RTN] キーにタッチする。



DVD メニュー画面

トップメニューを表示する

[TOP] キーにタッチする。

DVDメニュー画面に戻る

[MAIN] キーにタッチする。

- メニュー内容やの操作方法はディスクにより異なります。ディスクの取扱説明書をご覧ください。

字幕言語の切り替え

字幕の言語を選択します。

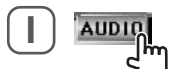


タッチするたびに言語が切り替わります。

- 切り替えられる言語はディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクによりディスクのメニューでしか言語の切り替えができない場合があります。

音声言語の切り替え

音声の言語を選択します。



タッチするたびに言語が切り替わります。

- 切り替えられる言語はディスクの取扱説明書をご覧ください。
- ディスクによりディスクのメニューでしか言語の切り替えができない場合があります。

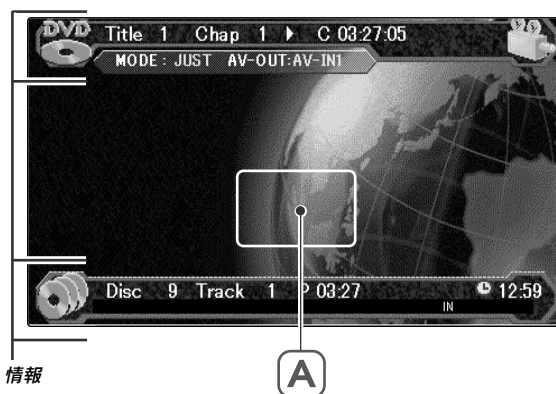
映像アングルの変更

マルチアングルで記録されている場面では映像のアングルを変えることができます。(アングルマーク表示時)

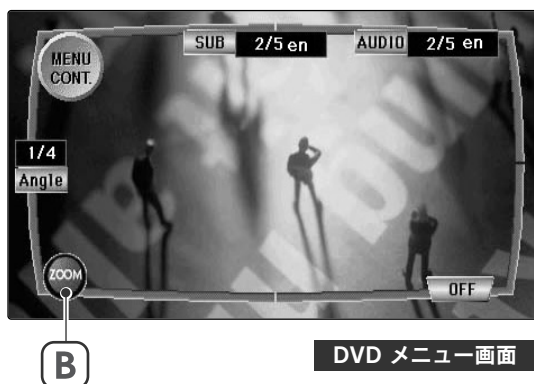


タッチするたびにアングルがかわります。

- DVD/VCD設定画面 (20ページ)で「Angle Mark」の設定を"OFF"にしている場合はアングルマークは表示されません。
- アングル変更まで時間がかかる場合があります。
- ディスクにより、アングル切り替えは2通りあります。
 - シームレス
つなぎめなくスムーズにアングルが切り替わる。
 - ノンシームレス
アングルきりかえ時に一瞬静止画になり、その後アングルが切り替わる。



情報



DVDメニュー画面

ズームコントロール

画面の1/4を拡大することができます。

ズームコントロール画面を表示します



タッチするとズームコントロール画面が表示されます。



ズームコントロール画面

映像をズームする

[Zoom] キーにタッチするたびにズーム機能がオン/オフします。

映像をスクロールする

[△]、[▽]、[<]、[>] キーにタッチすると、タッチした矢印の方向へ映像がスクロールします。

映像のスクロールを止める

スクロールを開始したときと同じ、[△]、[▽]、[<]、[>] キーにタッチします。

DVDメニュー画面に戻る

[MAIN] キーにタッチします。

再生箇所によってはズーム機能が使用できない場合があります。

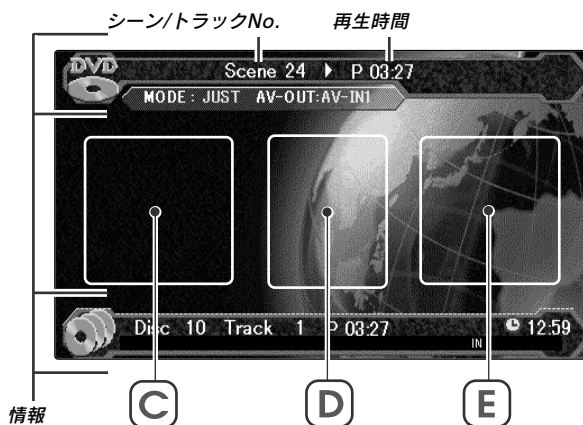
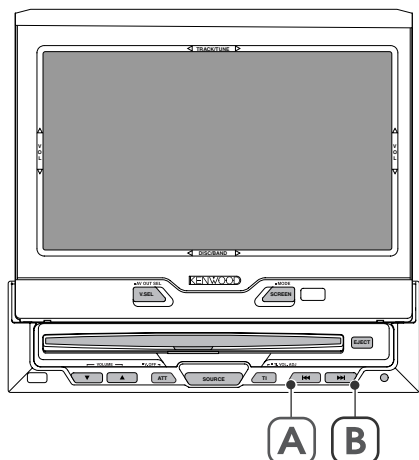
情報の表示

DVDの情報やAV情報を一時的に表示します。

A 画面の中央下部分にタッチします。

お買い上げ時は、画面の中央下部分にタッチする以外は、チャプターサーチの操作を行っても、タイトルNo./チャプターNo.等の表示はされません。操作を行ったときに、タイトルNo./チャプターNo.等を表示したいときは、システム設定画面（19ページ）の「On Screen」の設定を「Auto」にしてください。

ビデオCD(VCD)映像時の操作



プレイバック(PBC)コントロール

PBC機能をコントロールします。(PBC機能オン時)

次を再生する

E 画面の右部分にタッチします。

または



前を再生する

C 画面の左部分にタッチします。

または



● PBC機能が記録されているディスクでも、DVD/VCD設定画面(21ページ)で「PBC」の設定を「OFF」にしている場合はPBC機能を使用できません。

● PBC機能の使用方法はディスクの取扱説明書をご覧ください。

● 音声はVCD以外のソースの場合は、パネルのボタンを操作すると、そのソースの操作になります。(例：音声がテレビの場合はチャンネルの切り替えになります。)

トラックサーチ

トラックを選びます。(PBC機能オフ時)

先のトラックへ送る

E 画面の右部分にタッチします。

または



タッチまたは押すたびに先のトラックに切り替わります。

前のトラックへ送る

C 画面の左部分にタッチします。

または



1回タッチまたは押すと現在のトラックの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のトラックに切り替わります。

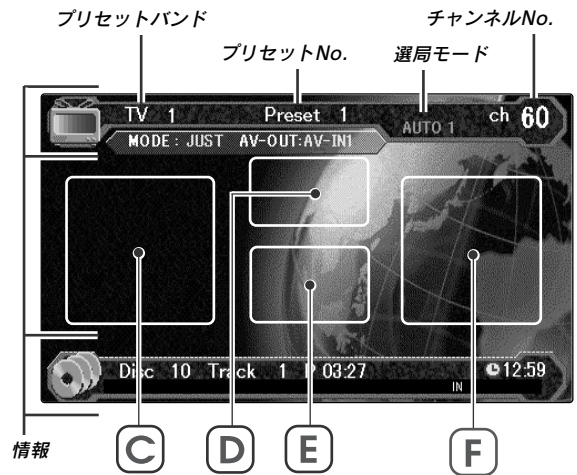
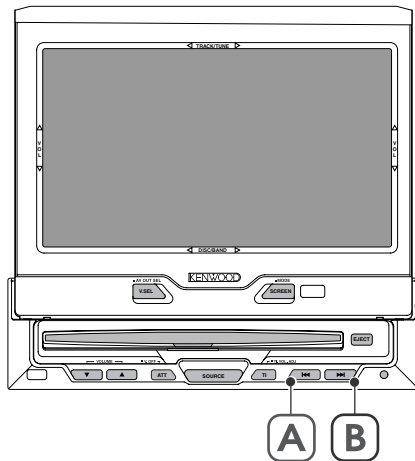
情報の表示

VCDの情報やAV情報を一時的に表示します。

D 画面の中央部分にタッチします。

● お買い上げ時は、画面の中央部分にタッチする以外は、トラックサーチの操作を行っても、シーンNo./トラックNo.等の表示はされません。操作を行ったときに、シーンNo./トラックNo.等を表示したいときは、システム設定画面(19ページ)の「On Screen」の設定を「Auto」にしてください。

TV映像時の操作



チャンネルの選択

チャンネルを上げる

F 画面の右部分にタッチします。

または



チャンネルを下げる

C 画面の左部分にタッチします。

または



● 音声-TV以外のソースの場合は、パネルのボタンを操作すると、そのソースの操作になります。(例：音声がCDの場合はトラックの切り替えになります。)

● チャンネルの選局動作は選局モードによりかわります。選局モードの設定はTVコントロール画面（36ページ）をご覧ください。

プリセットバンドを切り替える

6つのチャンネルをメモリーできるプリセットバンドをTV1とTV2から選択します。

D 画面の中央上部分にタッチします。

タッチするたびにプリセットバンドがTV1とTV2に切り替わります。

情報の表示

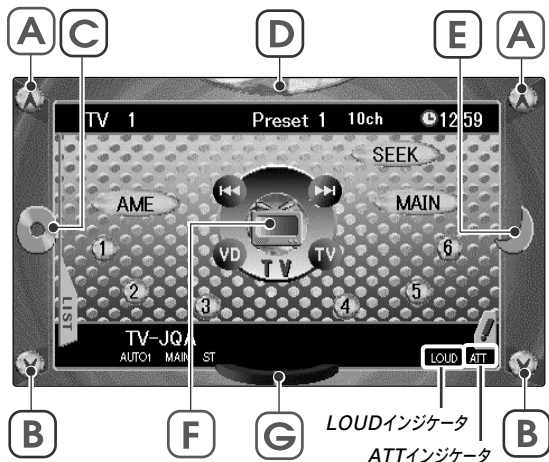
受信情報やAV情報を一時的に表示します。

E 画面の中央下部分にタッチします。

● お買い上げ時は、画面の中央下部分にタッチする以外は、チャンネル選択の操作を行っても、チャンネルNo.等の表示はされません。操作を行ったときに、チャンネルNo.等を表示したいときは、システム設定画面（19ページ）の「On Screen」の設定を「Auto」にしてください。

ソースコントロール

■ ソースコントロール画面の共通操作



音量の調整

スピーカ音量を調整します。

音量を大きくする



タッチするたびに音量が大きくなります。

音量を小さくする

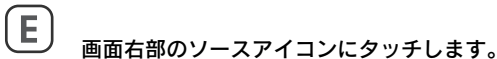


タッチするたびに音量が小さくなります。

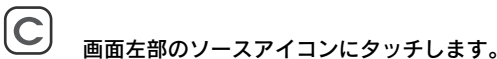
音声ソースの切り替え

本機スピーカから出力する音声ソースを切り替えます。

次のソースに切り替える



前のソースに戻す



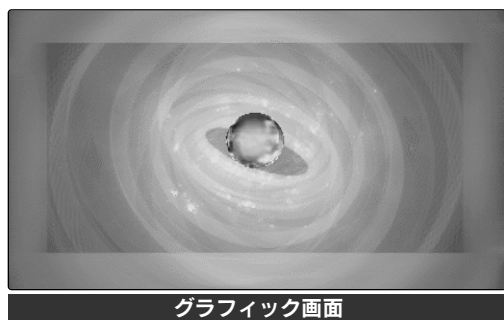
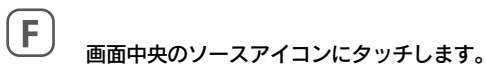
メニュー画面への切り替え



画面上部のアイコンにタッチします。

グラフィック画面の表示

必要最小限の操作をする画面に切り替えます。またこの画面では背景のパターンを切り替えることができます。



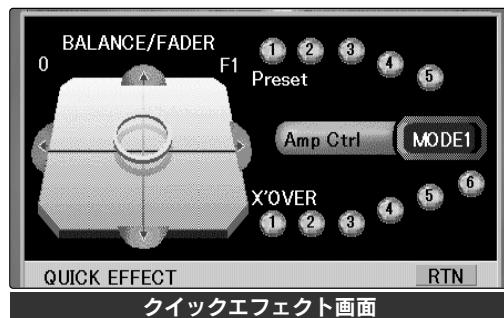
グラフィック画面の操作は55ページをご覧ください。

クイックエフェクト画面の表示

必要最小限のオーディオ設定をする画面を表示します。

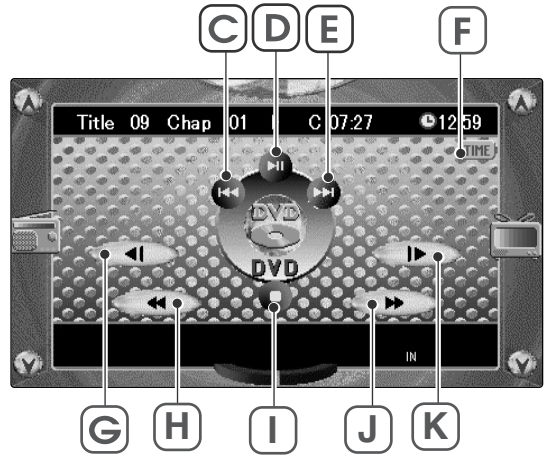
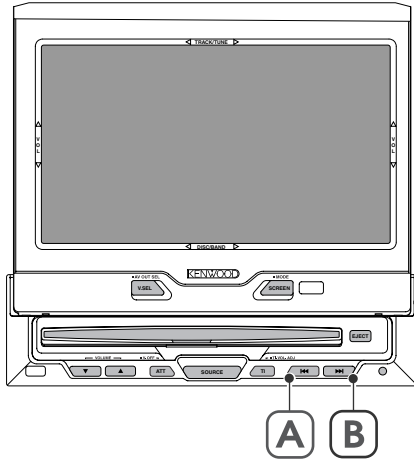


画面下部のアイコンにタッチします。



クイックエフェクト画面の操作は64ページをご覧ください。

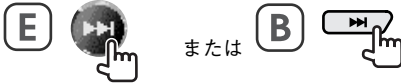
DVD/VCDコントロール画面を操作する



チャプター/トラックサーチ

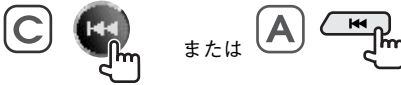
チャプター/トラックを順に切り替えます。

先のチャプター/トラックへ送る



タッチまたは押すたびに先のチャプター/トラックに切り替わります。(PBCオン時は次に再生)

前のチャプター/トラックへ送る



1回タッチまたは押すと現在のチャプター/トラックの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のチャプター/トラックに切り替わります。(PBCオン時は前を再生)

- ディスクによっては、チャプター番号順に切り替わらない場合があります。

早送り/早戻し

早送りする



早送り速度は、タッチするたびに1倍速(" X1 ")、2倍速(" X2 ")、3倍速(" X3 ")と切り替わります。

早戻しする



早戻し速度は、タッチするたびに1倍速(" X1 ")、2倍速(" X2 ")、3倍速(" X3 ")と切り替わります。

早送り/早戻しを止める



- ● 早送り/早戻し中の音声は出力されません。
- ● VCD再生では [<<<] や [>>>] キーを操作するとメニュー画面が表示される事があります。

ポーズ

再生を一時停止します。



タッチするたびに一時停止/再生になります。

- ● ディスクによっては、ポーズ機能が使用できないことがあります。

チャプターNo.(DVD)/シーン、トラックNo.(VCD)

タイトルNo.(DVD)

再生時間



INインジケータ

プレイ停止

再生を停止します。

プレイを停止する



1回タッチすると、プレイ再開時は停止した箇所から始まります。(INインジケータが表示している場合)
2回タッチすると、プレイ再開時は最初から始まります。

プレイを再開する



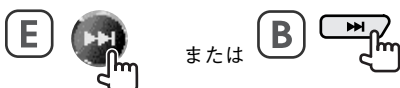
コマ送り再生

映像をコマ送りで再生します。(フレームバイフレーム再生)

1 一時停止にします



2 コマ送りする



タッチまたは押すたびにコマ送ります。

3 コマ送り再生を中止する



スロー再生

スロー送りする



スロー送り速度は、タッチするたびに1倍速(" X1 ")、1/2倍速(" X2 ")、1/3倍速(" X3 ")と切り替わります。

スロー戻しする



スロー戻し速度は、タッチするたびに1倍速(" X1 ")、1/2倍速(" X2 ")、1/3倍速(" X3 ")と切り替わります。

スロー送り/スロー戻しを止める



- スロー送り/スロー戻し中の音声は出力されません。
- VCD再生ではスロー戻しはできません。

再生時間表示の切り替え

再生時間表示のモードを切り替えます。



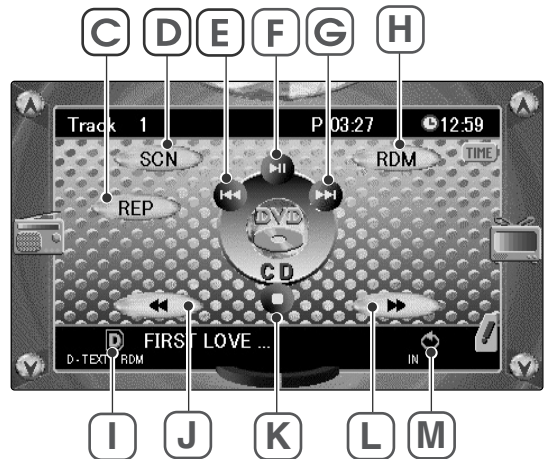
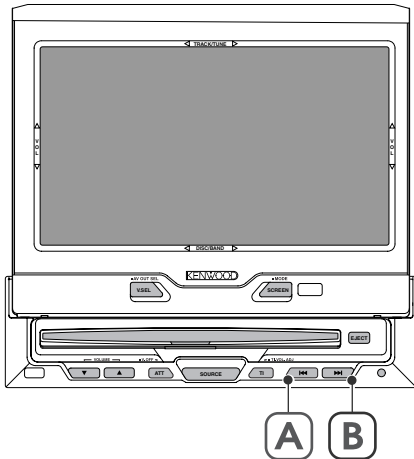
タッチするたびに、表示が以下のように切り替わります。

DVD再生時	VCD再生時
チャプター時間 [C]	トラック再生時間 [P]
▲	▲
タイトル時間 [T]	トータル再生時間 [A]

- VCD再生でPBC機能を"ON"に設定している場合は、[TIME]キーは表示しません。

ソースコントロール

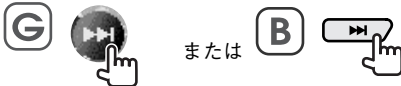
CDコントロール画面を操作する



トラックサーチ

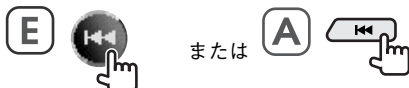
曲を順に切り替えます。

先のトラックへ送る



タッチまたは押すたびに先のトラックに切り替わります。

前のトラックへ送る



1回タッチまたは押すと現在のトラックの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のトラックに切り替わります。

早送り/早戻し

早送りする



タッチすると早送りを開始します。

早戻しする



タッチすると早戻しを開始します。

早送り/早戻しを止める



ポーズ

演奏を一時停止します。



タッチするたびに一時停止/再生になります。

プレイ停止

演奏を停止します。

プレイを停止する



1回タッチすると、プレイ再開時は停止した箇所から始まります。

2回タッチすると、プレイ再開時は最初から始まります。

プレイを再開する



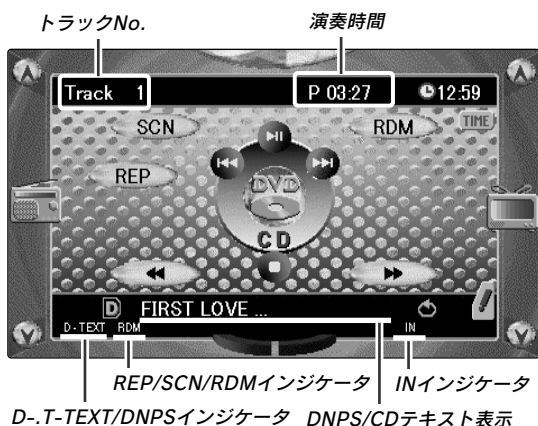
リピートプレイ

現在の曲を繰り返し演奏する。



タッチするたびにリピートプレイ機能がオン/オフします。リピート中はREPインジケータが点灯します。

ディスクを取り出すとリピートプレイ機能は解除されます。



スキャンプレイ

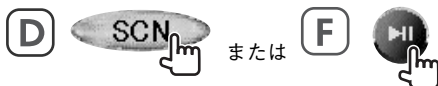
現在のディスクの曲の先頭を10秒間づつ演奏します。

1 スキャンプレイ機能をオンにします



タッチするとスキャンプレイ機能がオンします。
スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 曲が見つかったら



● ディスクを取り出すとスキャン機能は解除されます。

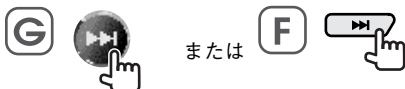
ランダムプレイ

現在のディスクの曲を自動的にランダムに演奏します。



タッチするたびにランダムプレイ機能がオン/オフします。
ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

他の曲を選ぶ



● ディスクを取り出すとランダムプレイ機能は解除されま
す。

ディスクネーム(DNPS)/CDテキスト ト表示の切り替え



タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- ディスクネームが登録されていない場合は "No Name" と表示されます。
- ディスク/トラックタイトルが記録されていない場合は "No Text" と表示されます。

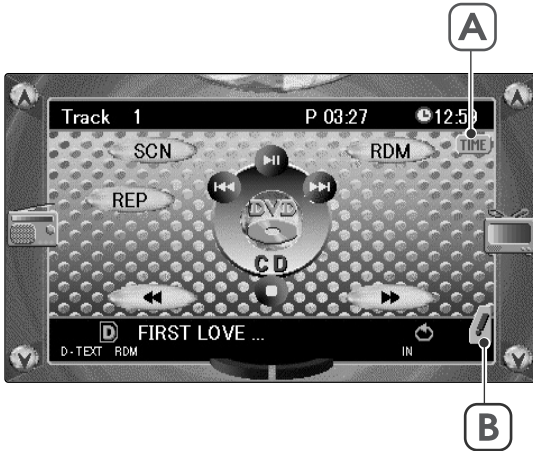
CDテキストのスクロール表示



タッチすると、CDテキストを1回スクロール表示します。

ソースコントロール

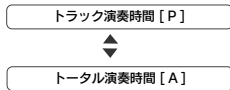
CDコントロール画面を操作する



演奏時間表示の切り替え



タッチするたびに、表示が以下のように切り替わります。



ネームセット画面への切り替え

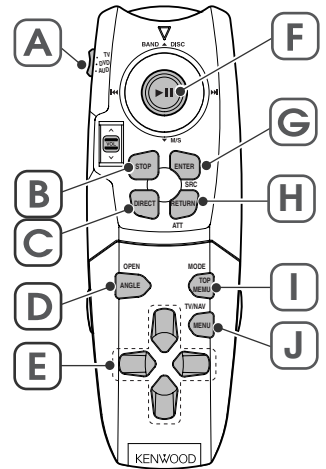
ディスクに名前をつけて登録できます(DNPS機能)。



2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

● パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。

リモコンでDVD/VCD/CDを操作する



チャプター(DVD)/トラック(VCD/CD)サーチ



現在のチャプター/トラックの先頭、前のチャプター/トラックを選びます。(PBCオン時: 次を再生)

→ 次のチャプター/トラックを選びます。(PBCオン時: 前を再生)

早送り/早戻し



↑ 早送りを開始します。
↑方向に動かすたびに早送り速度がかわります。(DVD/VCD)

↓ 早戻しを開始します。
↓方向に動かすたびに早戻し速度がかわります。(DVD/VCD)

ポーズ/プレイ



● 早送り/早戻し中、スロー送り/スロー戻しやコマ送り再生を解除するときも押します。

プレイ停止



1回押すと、プレイ再開時は停止した箇所から始まります。(Rインジケータが表示している場合)
2回タッチ押すと、プレイ再開時は最初から始まります。

スロー再生(DVD/VCD)



スロー送りします。(DVD/VCD)
押すたびに送り速度がかわります。



スロー戻しします。(DVD)
押すたびに戻し速度がかわります。

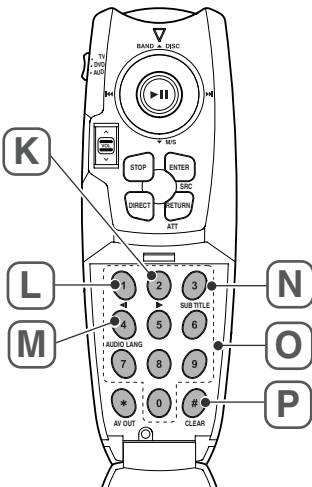
コマ送り(DVD/VCD)

1 ポーズ状態にします

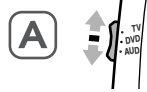
2 コマ送りします



→ 方向に動かすたびにコマ送ります。



モードスイッチの設定



モードスイッチは「DVD」の位置にします。

字幕言語の切り替え(DVD)



音声言語の切り替え(DVD)



多重音声の切り替え(VCD)



音声が以下のようにかわります。

▶ 左 + 右 ▶ 左 + 左 ▶ 右 + 右

アングルの切り替え(DVD)

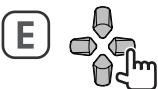


ディスクメニューの操作(DVD)

メニューを表示する



メニューの項目を選ぶ



メニューを確定する



メニューに戻る



トップメニューを表示する



ダイレクトサーチ

ダイレクトにNo.や時間でサーチできます。

1 ダイレクトサーチモードにします



2 No.または時間を入力します



[0]~[9]のキーにタッチします。

DVD : タイトル/チャプターのNo.または時間

VCD : PBC画面のNo.(PBCオン時)

トラックNo.(PBCオフ時)

CD : トラックNo.

● 入力をまちがえた時は[] [CLEAR]ボタンを押して、再入力してください。

3 サーチします



PBCの操作



次/前を再生する



確定する



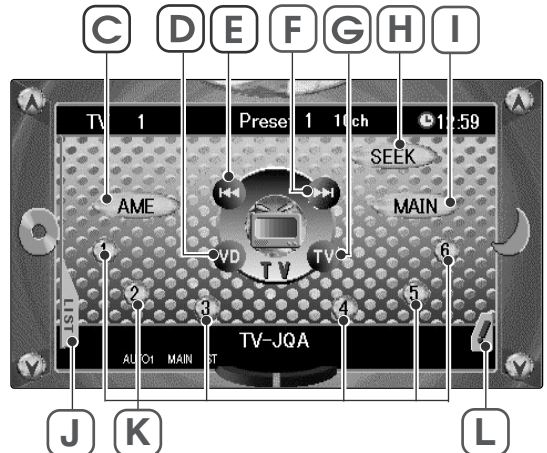
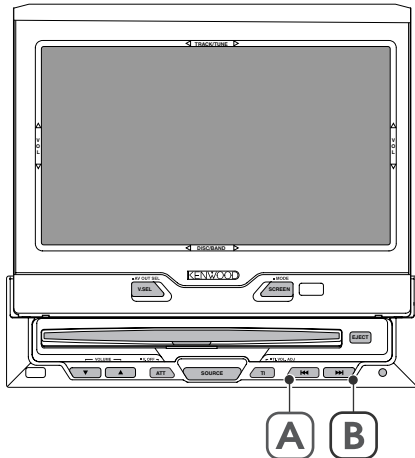
戻る

上記各キーで操作します。

● PBC機能についてはディスクの取扱説明書をご覧ください。

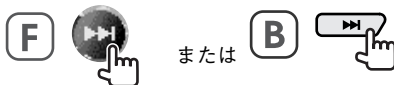
ソースコントロール

TVコントロール画面を操作する

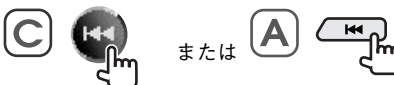


チャンネルの選択

チャンネルを上げる



チャンネルを下げる



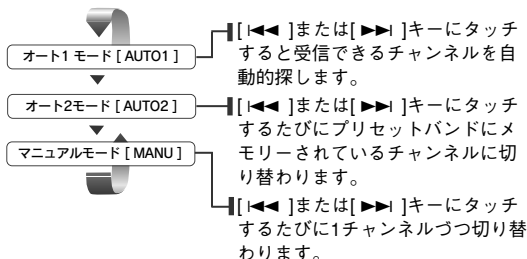
● チャンネルの選択動作は選局モードによりかわります。

選局モードを設定する

3つ選局モードを選択します。



タッチするたびに選局モードが以下のように切り替わります。



プリセットバンドを切り替える

6つのチャンネルをメモリーできるプリセットバンドをTV1とTV2から選択します。



タッチするたびにプリセットバンドがTV1とTV2に切り替わります。

マニュアルメモリー

任意のチャンネルをメモリーします。



タッチした番号の"プリセットNo."が表示されるまで2秒以上タッチし続けます。

オートメモリー

自動的に受信状態のよいチャンネルをメモリーします。

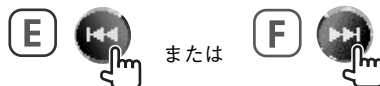
1 メモリーさせたいプリセットバンドを選びます



2 オートメモリーモードにします

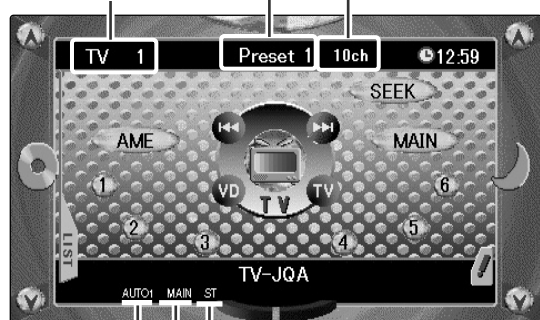


3 オートメモリーを開始します



- 6局をメモリーするか、チャンネルを一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。
- オートメモリー中に [AME] キーにタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

プリセットバンド プリセットNo. チャンネルNo.



STインジケータ
MAIN/SUBインジケータ
AUTO1/AUTO2/MANUインジケータ

メモリーの呼び出し

オートメモリーやマニュアルでメモリーしたチャンネルを呼び出します。

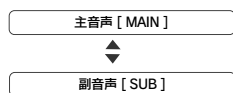


メイン/サブ音声の切り替え

音声多重放送時の主/副音声を切り替えます。



タッチするたびに以下のように切り替わります。



ビデオ入力への切り替え

V.SELボタンで選ぶ映像をAV入力の映像に切り替えます。



タッチするたびにビデオ入力1とビデオ入力2に切り替わります。

TVリスト画面への切り替え

プリセットバンドにメモリーされているチャンネルのリストを表示します。



タッチするとTVリスト画面に切り替わります。
(38ページ)

ネームセット画面への切り替え

チャンネル(放送局)に名前をつけて登録できます。(SNPS機能)

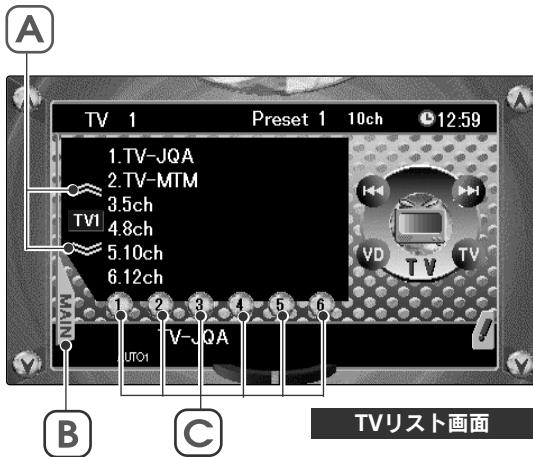


2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

● パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。

ソースコントロール

■ TVコントロール画面を操作する



● TVリスト画面の操作

■ リストを切り替える



タッチするたびにリストがプリセットバンドTV1とTV2に切り替わります。

■ リストを選択する



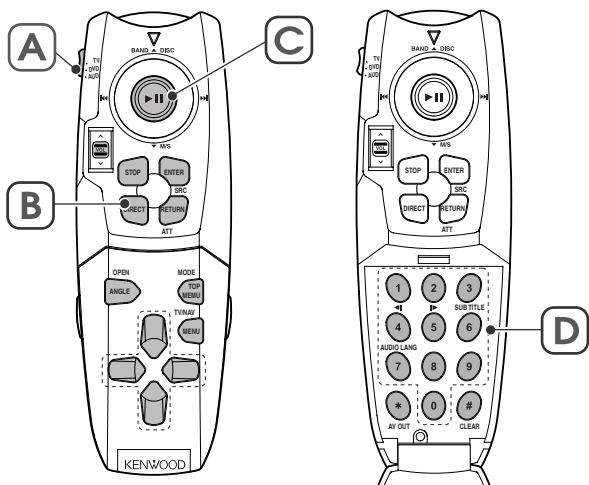
リストNo.の番号キーにタッチします。

■ ソースコントロール画面に戻る



● [◀◀], [▶▶], [TV], [VD] および [] キーの操作はTVコントロール画面と同様の動作になります。

リモコンでTVを操作する



モードスイッチの設定



モードスイッチは< TV >の位置にします。

システム設定画面（18ページ）のリモコンセンサーの設定を"OFF"に設定している場合、リモコンによるTV操作ができません。リモコンで操作できない場合は、"ON"に設定されているか確認してください。

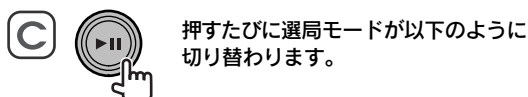
チャンネルの選択



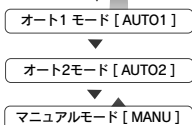
チャンネルが下がります。

チャンネルが上がります。

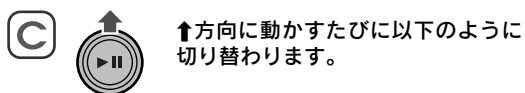
選局モードを設定する



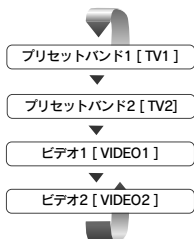
押すたびに選局モードが以下のように切り替わります。



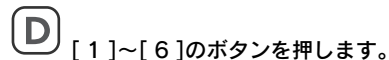
プリセットバンド/ビデオ入力を切り替える



↑方向に動かすたびに以下のように切り替わります。



メモリーの呼び出し



[1] ~ [6] のボタンを押します。

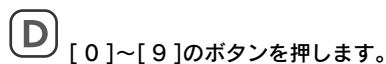
ダイレクトチャンネル選択

ダイレクトにチャンネルNoを入力して選択できます。

1 ダイレクトサーチモードにします

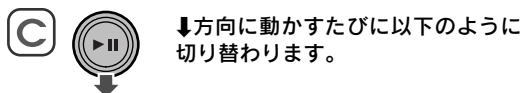


2 チャンネルNo.を入力します

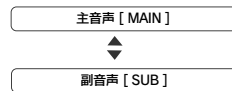


入力したチャンネルに切り替わります。

メイン/サブ音声の切り替え

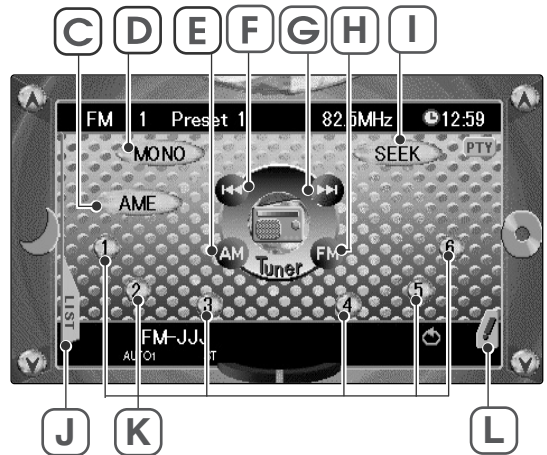
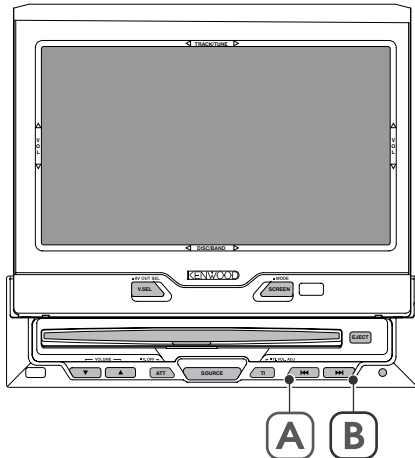


↓方向に動かすたびに以下のように切り替わります。



ソースコントロール

FM/AMコントロール画面を操作する



バンドの選択

FMバンドを選ぶ



タッチするとFMバンドに切り替わります。タッチすることによりプリセットバンドがFM1とFM2に切り替わります。

AMバンドを選ぶ



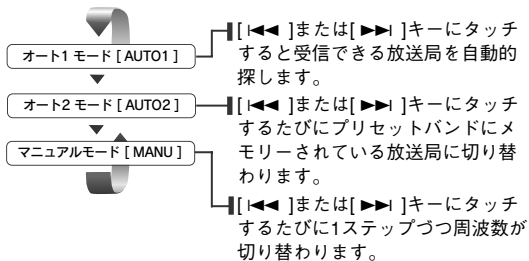
タッチするとAMバンドに切り替わります。タッチすることによりプリセットバンドがAM1とAM2に切り替わります。

選局モードを設定する

3つ選局モードを選択します。

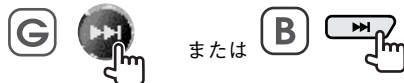


タッチするたびに選局モードが以下のように切り替わります。

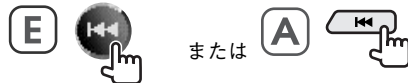


放送局を選ぶ

周波数を上げる



周波数を下げる



- 選局動作は選局モードにより異なります。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

マニュアルメモリー

任意のチャンネルをメモリーします。



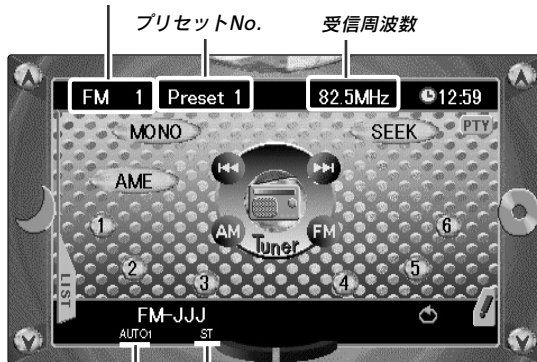
タッチした番号の"プリセットNo."が表示されるまで2秒以上タッチし続けます。

メモリーの呼び出し

オートメモリーやマニュアルでメモリーした放送局を呼び出します。



プリセットバンド



STインジケータ
AUTO1/AUTO2/MANUインジケータ

オートメモリー

自動的に受信状態のよいチャンネルをメモリーします。

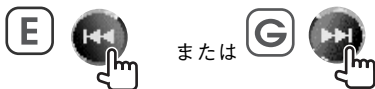
1 メモリーさせたいプリセットバンドを選びます



2 オートメモリーモードにします



3 オートメモリーを開始します



- 6局をメモリーするか、周波数を一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。
- オートメモリー中に [AME] キーにタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

モノラル受信

FMの受信状態が悪くノイズが多い場合に強制的にモノラル受信にできます。



タッチするたびにモノラル受信とモノラル受信解除に切り替わります。

FM/AMリスト画面への切り替え

プリセットバンドにメモリーされている放送局のリストを表示します。



タッチするとFM/AMリスト画面に切り替わります。
(42ページ)

ネームセット画面への切り替え

チャンネル(放送局)に名前をつけて登録できます。(SNPS機能)

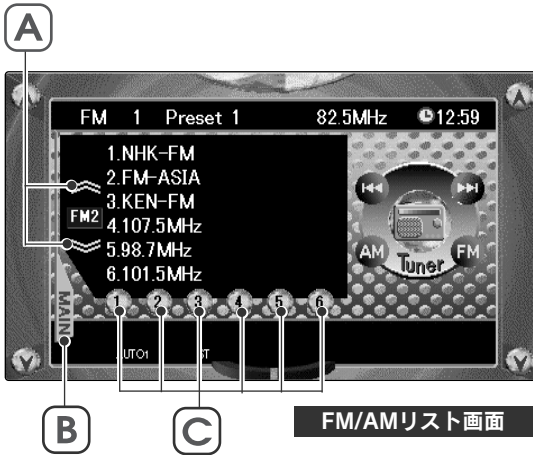


2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

● パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。

ソースコントロール

FM/AMコントロール画面を操作する



FM/AMリスト画面の操作

リストを切り替える



タッチするたびにリストがプリセットバンドFM1、FM2、AM1、AM2と切り替わります。

リストを選択する



リストNo.の番号キーにタッチします。

ソースコントロール画面に戻る



● [◀◀]、[▶▶]、[FM]、[AM] および [MAIN] キーの操作はFM/AMチューナーコントロール画面と同様の動作になります。

交通情報コントロール画面の操作

交通情報を受信します



パネルの [T.I] ボタンを押たびに交通情報受信がオン/オフします。交通情報受信がオン中は、交通情報コントロール画面が表示されます。

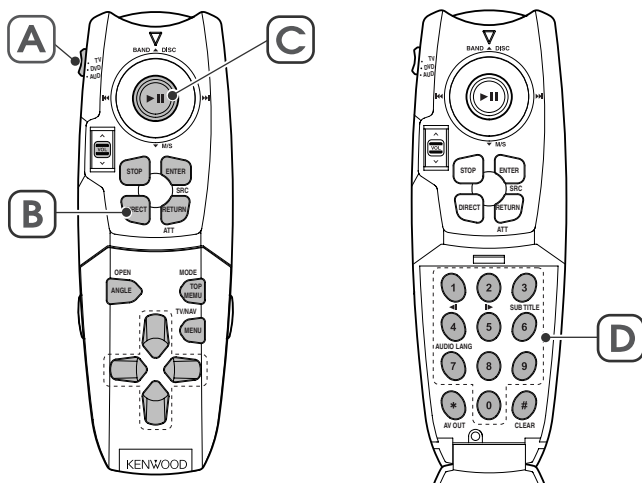
受信周波数を切り替える



タッチするたびに、1620KHz、1629KHz、522KHzに切り替わります。

- 周波数はパネルの [◀◀] / [▶▶] ボタンを押しても変更できません。
- [MAIN] キーの操作はFM/AMチューナーコントロール画面と同様の動作になります。

リモコンでFM/AMを操作する



モードスイッチの設定



モードスイッチは< AUD >の位置にします。

FMバンドの選択

C



↑方向に動かすたびに以下のように切り替わります。

プリセットバンドFM1 [FM 1] ◀▶ プリセットバンドFM2 [FM 2]

AMバンドの選択

C



↓方向に動かすたびに以下のように切り替わります。

プリセットバンドAM1 [AM 1] ◀▶ プリセットバンドAM2 [AM 2]

放送局を選ぶ

C



← 周波数が下がります。

→ 周波数が上がります。

選局モードを設定する

C



押すたびに選局モードが以下のように切り替わります。

オート1モード [AUTO1]

オート2モード [AUTO2]

マニュアルモード [MANU]

メモリーの呼び出し

D

[1] ~ [6] のキーにタッチします。

ダイレクト選局

ダイレクトに周波数を入力して選択できます。

1 ダイレクトサーチモードにします

B



2 周波数を入力します

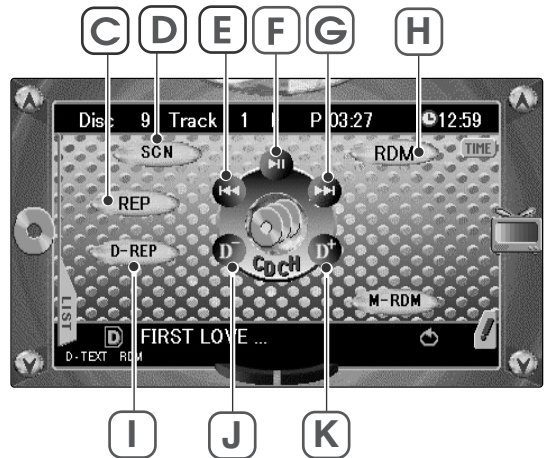
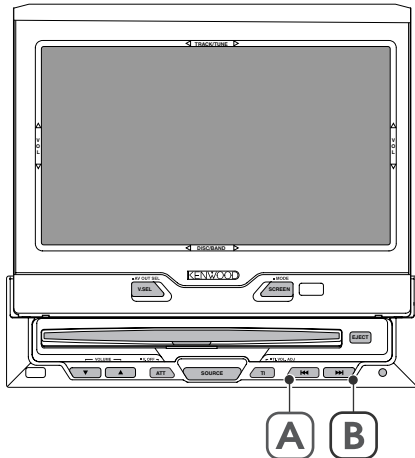
D

[0] ~ [9] のキーにタッチします。

入力した周波数に切り替わります。

ソースコントロール

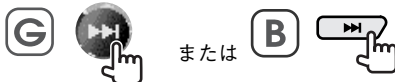
■ ディスクチェンジャーコントロール画面を操作する



トラックサーチ

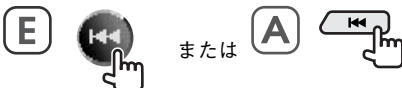
曲を順に切り替えます。

先のトラックへ送る



タッチまたは押すたびに先のトラックに切り替わります。

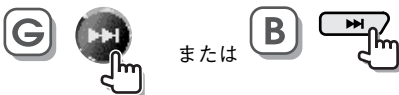
前のトラックへ送る



1回タッチまたは押すと現在のトラックの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のトラックに切り替わります。

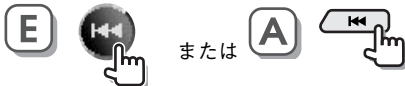
早送り/早戻し

早送りする



タッチまたは押し続けている間早送りします。

早戻しする



タッチまたは押し続けている間早戻しします。

ディスクサーチ

チェンジャー内のディスクを選びます。

先のディスクを選ぶ



タッチするたびにNo.の大きいほうのディスクへ切り替わります。

前のディスクを選ぶ



タッチするたびにNo.の小さいほうのディスクへ切り替わります。

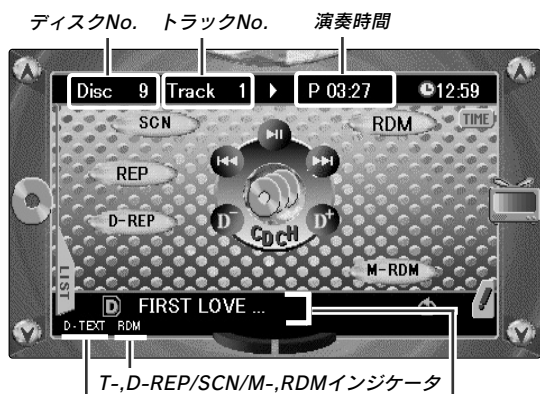
● 3+1MDチェンジャーにMDが4枚セットされている場合は操作できません。

ポーズ

演奏を一時停止します。



タッチするたびに一時停止/再生になります。



D-, T-TEXT/D-, T-TITLE/DNPSインジケータ
DNPS/CDテキスト表示

リピートプレイ

現在の曲を繰り返し演奏する。



タッチするたびにリピートプレイ機能がオン/オフします。リピートプレイ中はREPインジケータが点灯します。

- ディスクやマガジンを取り出すとリピートプレイ機能は解除されます。

ディスクリピートプレイ

現在のディスクを繰り返し演奏する。



タッチするたびにディスクリピートプレイ機能がオン/オフします。ディスクリピートプレイ中はD-REPインジケータが点灯します。

- ディスクやマガジンを取り出すとディスクリピートプレイ機能は解除されます。
- 3+1MDチェンジャーにMDが4枚セットされている場合は操作できません。

スキャンプレイ

現在のディスクの曲の先頭を10秒間つつ演奏します。

1 スキャンプレイ機能をオンにします



タッチするとスキャンプレイ機能がオンします。スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 曲が見つかったら



- ディスクやマガジンを取り出すとスキャンプレイ機能は解除されます。

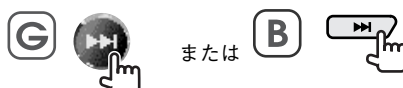
ランダムプレイ

現在のディスクの曲を自動的にランダムに演奏します。



タッチするたびにランダムプレイ機能がオン/オフします。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

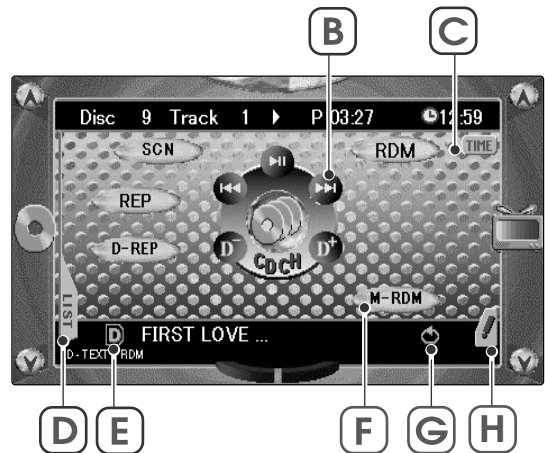
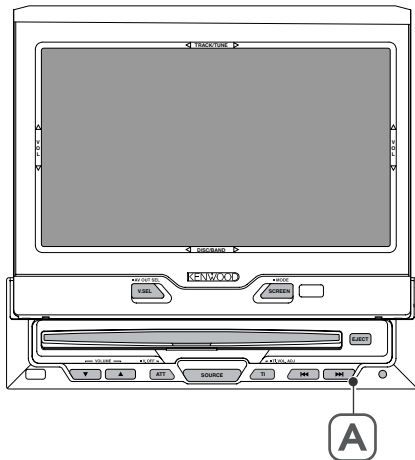
他の曲を選ぶ



- ディスクやマガジンを取り出すとランダムプレイ機能は解除されます。

ソースコントロール

■ ディスクチェンジャーコントロール画面を操作する



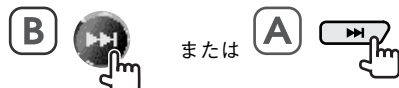
マガジンランダムプレイ

マガジン内のディスクの曲を自動的にランダムに演奏します。



タッチするたびにマガジンランダムプレイ機能がオン/オフします。
マガジンランダムプレイ中はM-RDMインジケータが点灯します。

他の曲を選ぶ

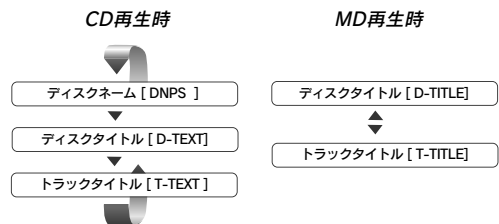


- ディスクやマガジンを取り出すとマガジンランダムプレイ機能は解除されます。
- 3+1MDチェンジャーにMDが4枚セットされている場合は操作できません。

ディスク名前(DNPS)/CDテキスト/MDタイトル表示の切り替え



タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- ディスク名前が登録されていない場合は "No Name" と表示されます。
- ディスク/トラックタイトルが記録されていない場合は "No Text" または "No Title" と表示されます。

CDテキスト/MDタイトルのスクロール表示



タッチすると、CDテキスト/MDタイトルを1回スクロール表示します。



ディスクリスト画面

演奏時間表示の切り替え(CDのみ)



タッチするたびに、表示が以下のように切り替わります。



ネームセット画面への切り替え(CDのみ)

CDに名前をつけて登録できます(DNPS機能)。



2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

● パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。

ディスクリスト画面への切り替え

ディスクチェンジャー内のディスクリストを表示します。



タッチするとディスクリスト画面に切り替わります。

ディスクリスト画面の操作

リストを切り替える(CDのみ)



タッチするたびにディスクリストがNo.1～No.6とNo.7～No.10に切り替わります。

DNPSとCDテキスト表示を切り替える(CDのみ)



リストの表示がDNPSのときは [DNPS]キーにタッチするとリストがディスクタイトル表示に切り替わります。リストの表示がディスクタイトルのときは [DNPS]キーにタッチするとリストがDNPS表示に切り替わります。

リストを選択する



リストNo.の番号キーにタッチします。

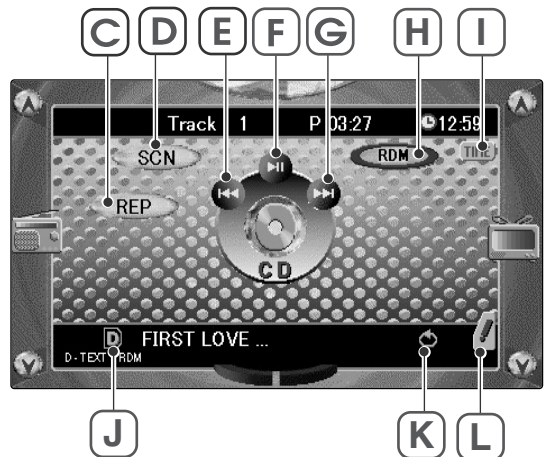
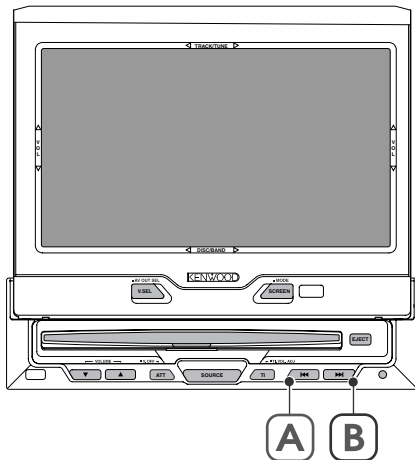
● 3+1MDチェンジャーにMDが4枚セットされている場合は操作できません。

ソースコントロール画面に戻る



● [◀◀], [▶▶], [FM], [AM], [🔍], [D] および [🔄] および [🔍] キーの操作はディスクチェンジャーコントロール画面と同様の動作になります。

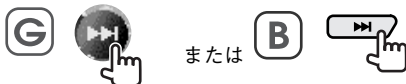
■ 外部CDプレーヤーコントロール画面を操作する



トラックサーチ

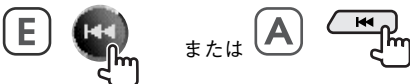
曲を順に切り替えます。

先のトラックへ送る



タッチまたは押すたびに先のトラックに切り替わります。

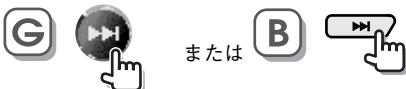
前のトラックへ送る



1回タッチまたは押すと現在のトラックの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のトラックに切り替わります。

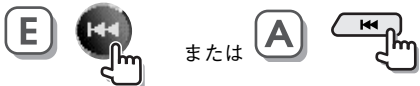
早送り/早戻し

早送りする



タッチまたは押し続けている間早送りします。

早戻しする



タッチまたは押し続けている間早戻しします。

ポーズ

演奏を一時停止します。



タッチするたびに一時停止/再生になります。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返し演奏する。



タッチするたびにリピートプレイ機能がオン/オフします。リピートプレイ中はREPインジケータが点灯します。

● ディスクを取り出すとリピートプレイ機能は解除されます。

スキャンプレイ

現在のディスクの曲の先頭を10秒間づつ演奏します。

1 スキャンプレイ機能をオンにします

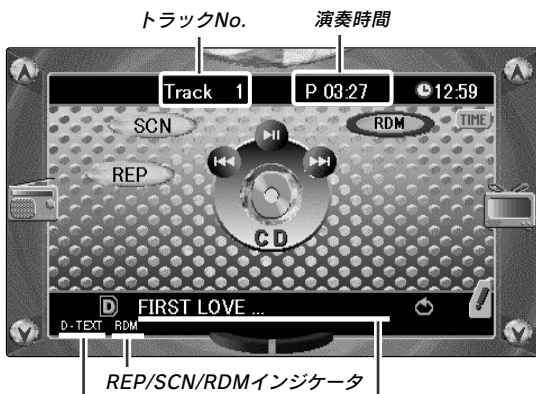


タッチするとスキャンプレイ機能がオンします。スキャンプレイ中はSCNインジケータが点灯します。

2 曲が見つかったら



● ディスクを取り出すとスキャンプレイ機能は解除されます。



D-.T-TEXT/DNPSインジケータ DNPS/CDテキスト表示

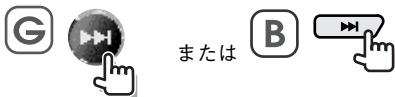
ランダムプレイ

現在のディスクの曲を自動的にランダムに演奏します。



タッチするたびにランダムプレイ機能がオン/オフします。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

他の曲を選ぶ

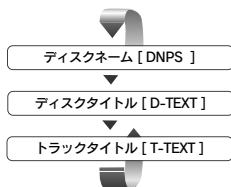


● ディスクを取り出すとランダムプレイ機能は解除されます。

ディスク名(DNPS)/CDテキスト表示の切り替え



タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- ディスク名が登録されていない場合は "No Name" と表示されます。
- ディスク/トラックタイトルが記録されていない場合は "No Text" と表示されます。

CDテキストのスクロール表示



タッチすると、CDテキストを1回スクロール表示します。

演奏時間表示の切り替え



タッチするたびに、表示が以下のように切り替わります。



ネームセット画面への切り替え

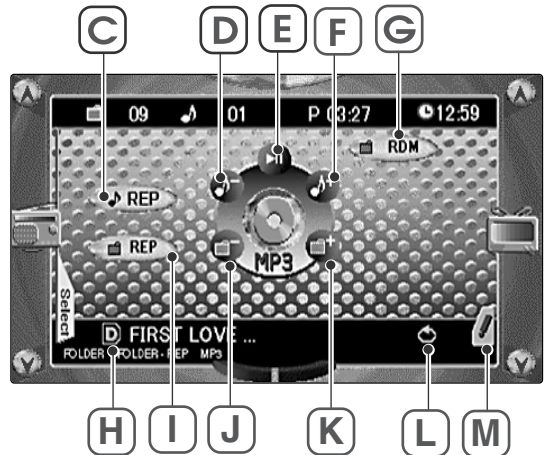
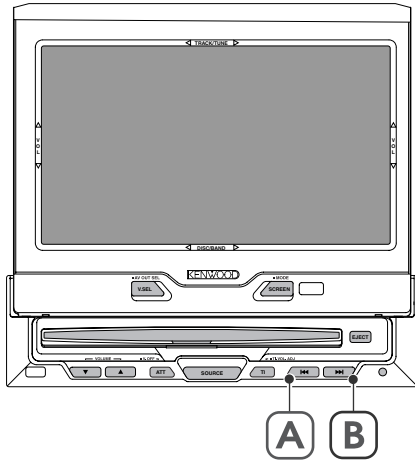
ディスクに名前をつけて登録できます(DNPS機能)。



2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

● パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。

外部CDプレーヤーコントロール<MP3>画面を操作する



MP3ファイルプレイ

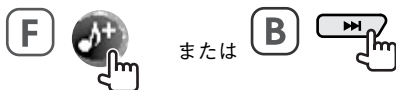
MP3ファイルをプレイするには、本機に別売品のMP3対応CDプレーヤー"D929/ D919"を接続し、MP3ファイルの収録されているメディアを挿入してください。

- "D929/ D919"でプレイできるメディアはCD-ROM, CD-R, CD-RWです。また、フォーマットがISO9660 level1またはlevel2のメディアを使用してください。
- プレイされるまで、MP3ファイルが収録されているメディアかを確認するため時間がかかります。MP3が収録されたメディアと確認されると"MP3"インジケータが点灯します。

ファイルサーチ

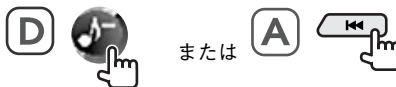
ファイルを順に選びます。

先のファイルに送る



タッチまたは押すたびに先のファイルに切り替わります。

前のファイルに送る



1回タッチまたは押すと現在のファイルの先頭へ、タッチまたは押すたびに前のファイルに切り替わります。

- ファイル数およびフォルダ階層の状態によりファイルサーチに時間がかかることがあります。

フォルダサーチ

フォルダを順に選びます。

次のフォルダに送る



タッチするたびに次のフォルダへサーチします。

前のフォルダに送る



タッチするたびに前のフォルダへサーチします。

- 選択したフォルダ内にファイルがない場合は、自動的にプレイ順で一番近いファイルをプレイします。
- ファイル数およびフォルダ階層の状態によりフォルダサーチに時間がかかることがあります。

ポーズ

演奏を一時停止します



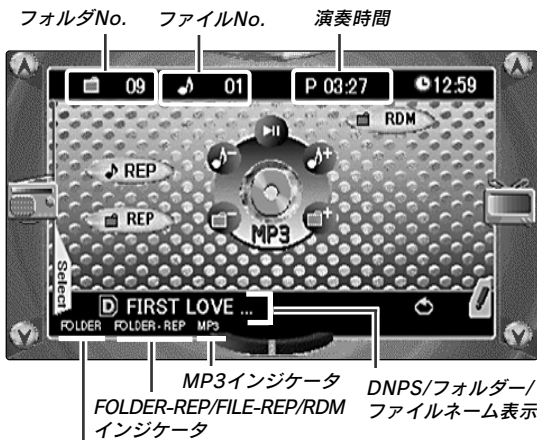
タッチするたびに一時停止/再生になります。

- ポーズ中は、MP3関連の操作（ファイルサーチ/フォルダサーチなど）はできません。このような操作を行う場合は、ポーズを解除してください。

ネームのスクロール表示



タッチすると、フォルダ名やファイル名を1回スクロール表示します。

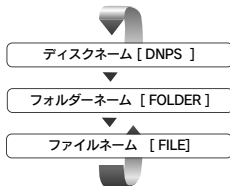


FOLDER/FILE/DNPSインジケータ

DNPS/フォルダネーム/ファイルネーム表示の切り替え



タッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



● ディスクネームが登録されていない場合は "No Name" と表示されます。

ネームセット画面への切り替え

ディスクに名前を登録できます(DNPS機能)。



2秒以上タッチし続けるとネームセット画面へ切り替わります。(56ページ)

- パーキングブレーキを解除しているときは、ネームセット画面に切り替わりません。
- MP3が収録されているディスクにDNPSを行うと、MP3が収録されているすべてのディスクに対して同じDNPS表示がされます。

ファイルリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



タッチするたびにファイルリピートプレイ機能がオン/オフします。ファイルリピートプレイ中はFILE-REPインジケータが点灯します。

● ディスクを取り出すとファイルリピートプレイ機能は解除されます。

フォルダリピートプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



タッチするたびにフォルダリピート機能がオン/オフします。フォルダリピートプレイ中はFOLDER-REPインジケータが点灯します。

● ディスクを取り出すとフォルダリピートプレイ機能は解除されます。

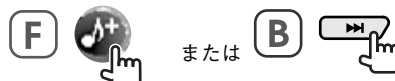
ランダムプレイ

現在聴いているフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



タッチするたびにランダムプレイ機能がオン/オフします。ランダムプレイ中はRDMインジケータが点灯します。

他の曲を選ぶ

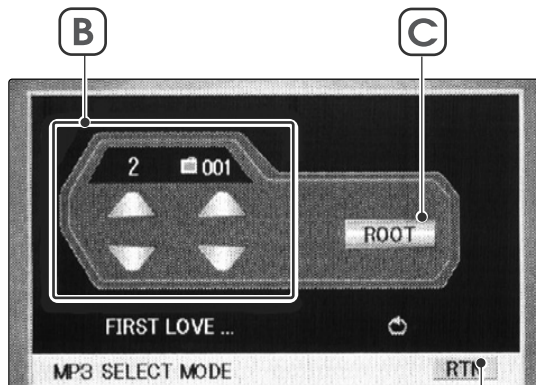


● ディスクを取り出すとランダムプレイ機能は解除されます。

外部CDコントロール<MP3>画面を操作する



A



フォルダセレクト画面

D

フォルダセレクトモード

聴きたい曲の入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクト画面を表示します



タッチするとファイルプレイが中止され、フォルダセレクト画面が表示されます。

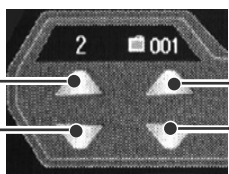
- フォルダが1つも記録されていないメディアでは、フォルダセレクト画面は表示されません。

2 フォルダを選びます

B

タッチするたびに1階層下のフォルダへ移動します。

タッチするたびに同階層内の次のフォルダへ移動します。



タッチするたびに1階層上のフォルダへ移動します。

タッチするたびに同階層内の前のフォルダへ移動します。

第1階層へ戻します (Root Jump)



現在聴いているメディアの最上階層のフォルダに戻ります。

- 現在のフォルダが属しているフォルダに、同一階層のフォルダがあるときは□ インジケータが表示されます。
- フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチ時とは異なります。

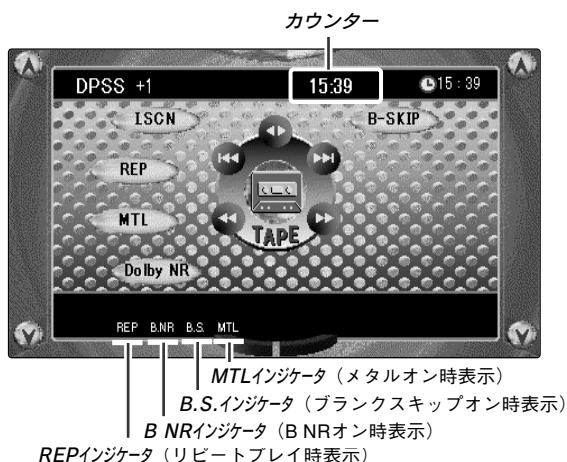
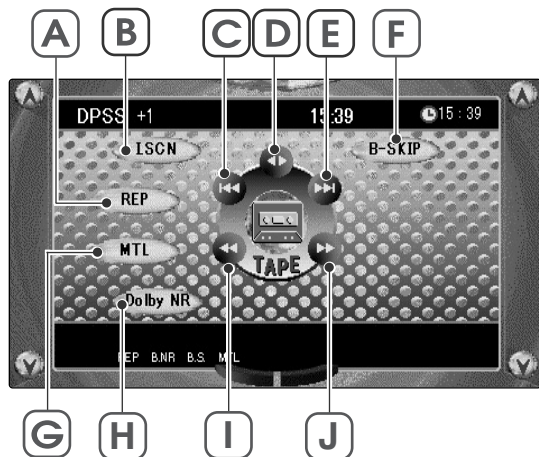
3 聴きたい曲が入っているフォルダで...



フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3ファイルがプレイされます。

- フォルダセレクトを終了して、選択したフォルダにMP3ファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルをプレイします。

■ カセットプレーヤーコントロール画面を操作する



早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送りする



巻戻しする



DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や現在プレイ中の曲の先頭/前の曲を飛び越し選曲します。

先の曲を選ぶ



タッチするたびに「+数字」が表示され、曲数分飛び越し選曲します。

前の曲を選ぶ



1回タッチすると現在の曲の先頭へ、タッチするたびに「-数字」が表示され、曲数分飛び越し選曲します。

● パネルの[◀◀]、[▶▶]キーでも操作できます。

プログラム切り替え

テープの再生方向 (A面とB面) を切り替えます。



タッチするたびにテープの再生方向が切り替わります。早送り/巻戻しやDPSSを途中で解除する場合も、このキーにタッチします。

ドルビーNRシステム

ドルビー NRシステムをオン/オフします。



タッチするたびにドルビーNRシステムがオン/オフされます。

テープポジションセクター

メタルポジションをオン/オフをします。



タッチするたびにメタルポジションがオン/オフします。

インデックススキャンプレイ

テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして聴きたい曲を探することができます。

インデックススキャンをオンにする



聴きたい曲が見つかったら



ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。



押すたびに、ブランクスキップ機能がオン/オフします。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。

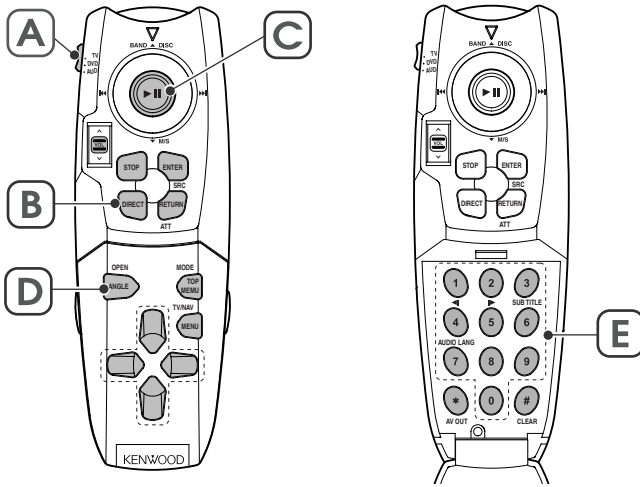


押すたびに、リピートプレイ機能がオン/オフします。

● DPSS、インデックススキャンプレイ、リピートプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

ソースコントロール

■ リモコンでディスクチェンジャーやCDプレーヤー、カセットプレーヤーを操作する



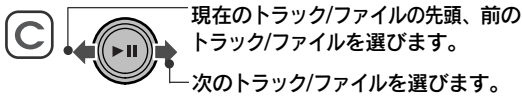
モードスイッチの設定



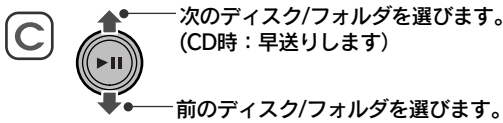
モードスイッチは< AUD >の位置にします。

ディスクの操作

トラック/ファイル(MP3)サーチ



ディスクサーチ/フォルダ(MP3)サーチ



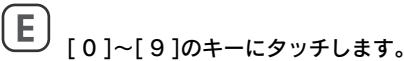
ポーズ/プレイ



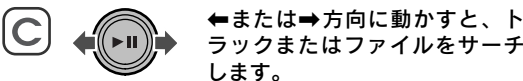
ダイレクトトラック/ファイル(MP3)サーチ

ダイレクトにトラックやファイルをサーチできます。

1 トラックNo.またはファイルNo.を入力します



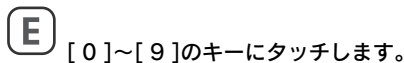
2 サーチします



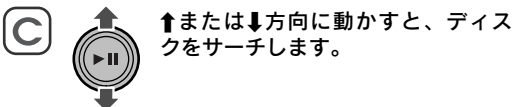
ダイレクトディスクサーチ

ダイレクトにディスクをサーチできます。

1 ディスクNo.を入力します

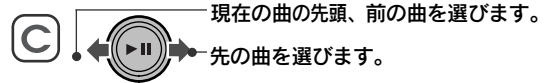


2 サーチします



カセットの操作

DPSS



早送り/巻戻し

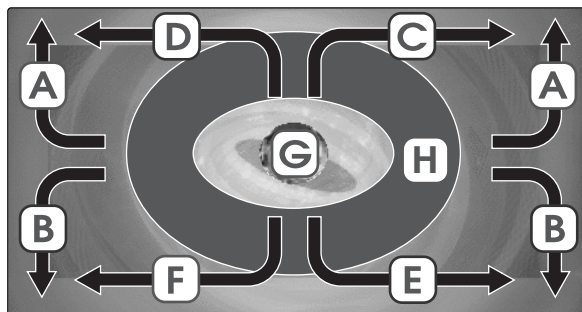


プログラム切り替え



早送り/巻戻しやDPSSを途中で解除する場合もこのボタンを押します。

■ グラフィック画面を操作する



音量の調整 (共通操作)

- A** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、音量が大きくなります。
- B** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、音量が小さくなります。

背景パターンの切り替え (共通操作)

- H** 画面の中心周辺部分にタッチするたびに背景パターンが切り替わります。

ソースコントロール画面に戻る (共通操作)

- G** 画面の中心部分にタッチすると、現在のソースコントロール画面に切り替わります。

ディスク再生時の操作

チャプター/トラック/ファイルサーチ

- C** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、次のチャプター/トラック/ファイルに切り替わります。
- D** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、現在のチャプター/トラック/ファイルの先頭に、なぞるたびに前のチャプター/トラック/ファイルに切り替わります。

ディスク/フォルダサーチ

- E** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、次のディスクやフォルダに切り替わります。
- F** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、前のディスクやフォルダに切り替わります。

テレビ放送受信時の操作

チャンネル選択

- C** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、チャンネルが上がります。
- D** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、チャンネルが上下がります。

● 選局動作は選局モードによりかわります。

プリセットバンド/ビデオ入力切り替え

- E** 矢印方向に画面を指でドラッグするたびに、プリセットバンドがTV1とTV2に切り替わります。
- F** 矢印方向に画面を指でドラッグするたびに、ビデオ1とビデオ2に切り替わります。

FM/AM放送受信時の操作

放送局の選択

- C** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、周波数が上がります。
- D** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、周波数が下がります。

● 選局動作は選局モードによりかわります。

バンドの切り替え

- E** 矢印方向に画面を指でドラッグするたびに、プリセットバンドがFM1とFM2に切り替わります。
- F** 矢印方向に画面を指でドラッグするたびに、プリセットバンドがAM1とAM2に切り替わります。

カセット再生時の操作

DPSS

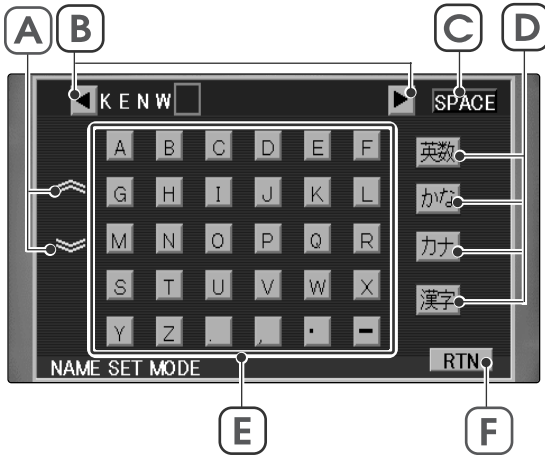
- C** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、次の曲に切り替わります。
- D** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、現在の曲の先頭に、なぞるたびに前の曲切り替わります。

早送り/巻戻し

- E** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、早送りします。指を離すと通常のプレイになります。
- F** 矢印方向に画面を指でドラッグすると、巻戻しします。指を離すと通常のプレイになります。

ソースコントロール

■ ネームセット画面を操作する



ネームセットのしかた

1 文字入力カーソルの移動します

- B** カーソルが左に移動します。
- カーソルが右に移動します。

2 文字種を選択します

- D** [文字種] キーにタッチします。

3 文字リストを切り替えます

- A**

4 文字を入力します

- E** 入力したい【文字】キーにタッチします。
- スペースを入力したい場合は [SPACE] にタッチします。

5 文字を登録します

- F** **RTN**
- ネームを登録して、ネームセット画面へ切り替える前の画面に戻ります。

漢字の入力方法

1 文字入力カーソルの移動します

2 読み目のリストを表示します

- D** 「漢字」キーにタッチします。
- ひらがなのリストが表示されます。

3 音読みの一文字を入力します

- E** ひらがなの【文字】キーにタッチします。
- 漢字のリストが表示されます。

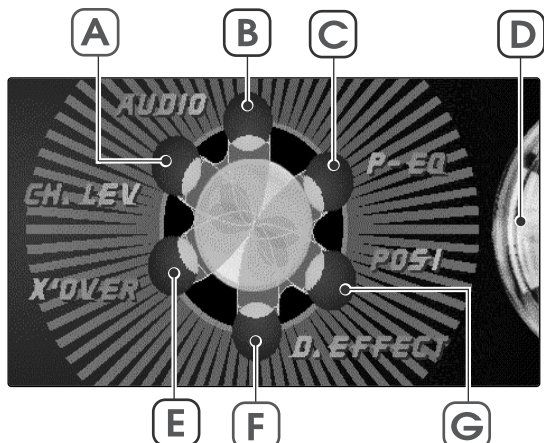
4 漢字を入力します

- D** 漢字の【文字】キーにタッチします。
- 漢字が入力されます。

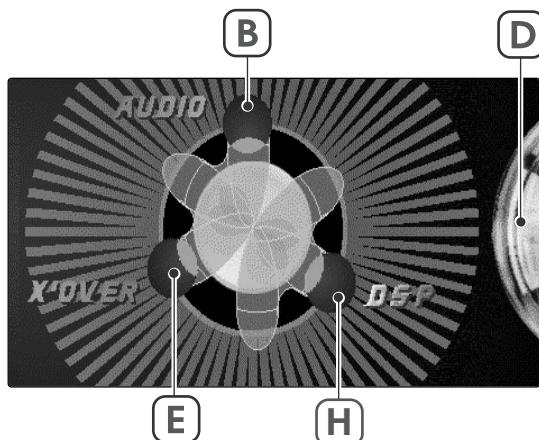
- 登録中にパーキングブレーキを解除したり、放送局をかえる、ディスクをイジェクト、またはディスクが入れ替わった場合も入力途中の文字を登録し、ネームセット画面は終了します。
- 文字は16桁まで入力できます。
- ステーションネーム (SNPS) はFM/AM合わせて30局まで登録できます。31局目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。TVの各20局まで登録できます。21局目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。
- ディスクネーム (DNPS) はCDプレーヤー/CDチェンジャー合わせて100枚まで登録できます。101枚目の登録を行うと演奏してから一番時間が経過しているCDのネームが消去されます。

オーディオ/サラウンド/DSPの設定

■ オーディオ設定メニュー画面を操作する



< DVDサラウンドプロセッサ"DS-01"接続時 >



< DSPユニット接続時 >

オーディオ設定画面の表示

バランス/フェーダー/低音/高音などの調整をします。



タッチするとオーディオ設定画面に切り替わります。
(58ページ)

クロスオーバー設定画面の表示

フィルターなどの設定をします。



タッチするとクロスオーバー設定画面に切り替わります。
(60ページ)

デジタル効果設定画面の表示

デジタル効果の設定をします。

<DVDサラウンドプロセッサ" DS-01 " 接続時 >



タッチするとデジタル効果設定画面に切り替わります。
(61ページ)

チャンネルレベル設定画面の表示

5.1chの各レベルを調整します。

<DVDサラウンドプロセッサ" DS-01 " 接続時 >



タッチするとチャンネルレベル設定画面に切り替わります。
(62ページ)

パラメトリックイコライザー画面の表示

パラメトリックイコライザーの調整をします。

<DVDサラウンドプロセッサ" DS-01 " 接続時 >



タッチするとパラメトリックイコライザー設定画面に切り替わります。
(62ページ)

ポジション設定画面の表示

音場の中心を設定をします。

<DVDサラウンドプロセッサ" DS-01 " 接続時 >



タッチするとポジション設定画面に切り替わります。
(64ページ)

DSPメニュー画面の表示

DSP設定メニュー画面を表示します。

<DSPユニット" P707/ X909/ D909/ X707/ D707 " 接続時 >



タッチするとDSPメニュー画面に切り替わります。
(65ページ)

メニュー画面に戻る

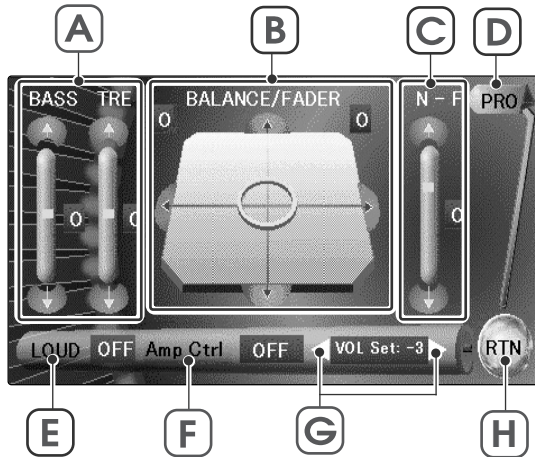


画面右側部分のアイコンにタッチするとメニュー画面に戻ります。

● システム設定画面(17ページ)の「2zone」設定が「ON」になっている場合は(DS-01接続時)、デジタル効果設定画面、クロスオーバー設定画面、ポジション設定画面、およびパラメトリックイコライザー画面の操作はできません。
また、チャンネルレベル設定画面の「NOISE」設定が「ON」になっている場合も、同様に上記の画面の操作はできません。

オーディオ/サラウンド/DSPの設定

■ オーディオ設定画面を操作する



低音/高音レベルの調整

A タッチするたびにレベルが高くなります。

タッチするたびにレベルが低くなります。

- DVDサラウンドプロセッサ接続時は調整できません。
- DSPユニット接続時は表示が"N-F BASS"、"N-F TRE"となりノンフェーダー出力の低音/高音調整になります。

バランス/フェーダーの調整

B タッチするたびに前側が強調されます。

タッチするたびに左側が強調されます。 タッチするたびに右側が強調されます。

タッチするたびに後側が強調されます。

ノンフェーダーレベルの調整

C タッチするたびにレベルが高くなります。

タッチするたびにレベルが低くなります。

- DSPユニット接続時は表示が"N-F LEV"になります。
- DVDサラウンドプロセッサ接続している時は表示が"SUB" になります。ただし、デジタル効果設定画面の「Sub Woofer」を"OFF"に設定している場合は調整できません。

ラウドネスのオン/オフ

E

- DVDサラウンドプロセッサ接続時は操作できません。

外部アンプコントロールのモード切り替え

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。

F

タッチするたびに設定が変更されます。

「OFF」 : 機能オフ

「MODE1」: 増幅レベル低い。

「MODE2」: 増幅レベル高い。

- 変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

ボリュームオフセット調整

ソース間のレベル差が大きい場合に、レベルの大きいソースのレベルを下げてレベル差を小さくします。

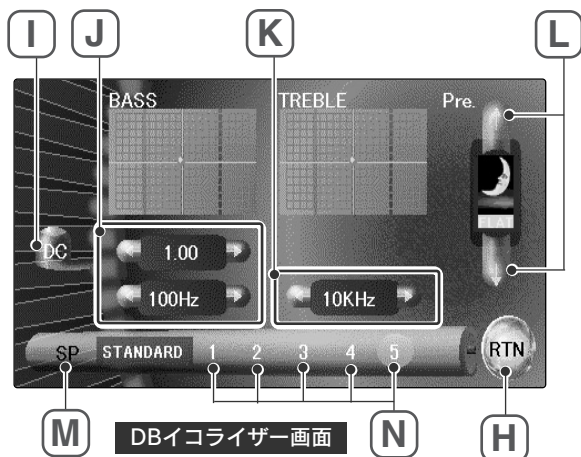
G

- [▶] キータッチするたびにレベルが戻ります。
- [◀] キータッチするたびにレベルが下がります。

DBイコライザー画面への切り替え

D

- DVDサラウンドプロセッサやDSPユニット接続時は表示しません。

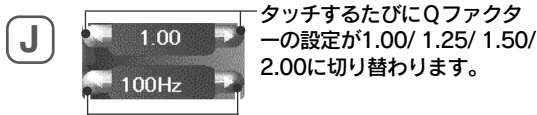


重低音の帯域設定



タッチするたびに設定が変更されます。
黄色：重低音の帯域を伸ばします。
なし：通常の帯域になります。

低音の中心周波数/Qファクターの調整



タッチするたびに中心周波数の設定が60/ 70/ 80/ 100 Hz(Qファクター:1.00/ 1.25/ 1.50時)/ 150Hz (Qファクター:2.00時)に切り替わります。

高音の中心周波数の調整



タッチするたびに中心周波数の設定が10.0/ 12.5/ 15/ 17.5 kHzに切り替わります。

プリセットイコライザーの選択

あらかじめプリセットされた音質を選択します。



タッチするたびに以下のようにかわります。



スピーカー設定

DBイコライザーの設定を車両のスピーカーに合わせます。



タッチするたびに設定が変更されます。
「STANDARD」：標準的なスピーカーに合わせた設定。
「NORROW」：周波数帯域の狭いスピーカーに合わせた設定。
「WIDE」：低音域がよく出る大型スピーカーに合わせた設定。
「MIDDLE」：低音域があまり出ない小型スピーカーに合わせた設定。

設定のメモリー

自分で調整した設定を5つまで保存できます。



2秒以上タッチし続けるとメモリーされます。
 タッチするとメモリーされた設定を呼び出します。

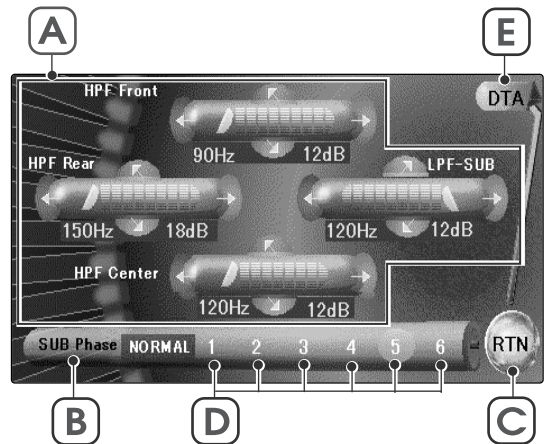
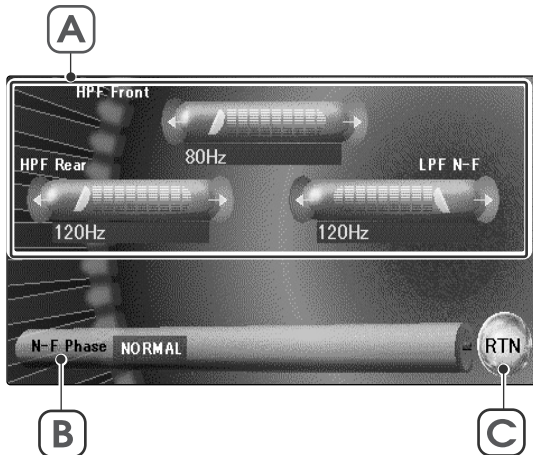
オーディオ設定画面を終了する



DBイコライザー画面のときはオーディオ設定画面に戻ります。
 オーディオ設定画面のときはオーディオ設定メニュー画面に戻ります。

オーディオ/サラウンド/DSPの設定

■ クロスオーバー設定画面を操作する



< DVDサラウンドプロセッサ接続時 >

カット周波数の設定

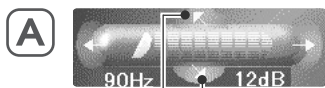
クロスオーバーのカット周波数を選択します。



タッチするたびにカット周波数が変わります。

カットスロープ値の設定

クロスオーバーのカットスロープ値を選択します。
<DVDサラウンドプロセッサ 接続時>



タッチするたびにカットスロープ値が変わります。

周波数および、カットスロープ値の設定は以下のようになります。

サラウンドプロセッサ未接続時

設定項目	設定値	条件
HPF Rear リア低音カット	THR(通過)/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)	—
HPF Front フロント低音カット	THR(通過)/40/60/80/100/120/150/180/220(Hz)	—
LPF N-F ノンフェーダー高音カット	50/80/120(Hz)/THR(通過)	—

サラウンドプロセッサ接続時

HPF Rear ・リア低音カット周波数 ・リア低音カットスロープ	THR(通過)/30/60/90/120/150/180/250(Hz) 12/18/24(dB/Oct)	(A) (B)
HPF Front ・フロント低音カット周波数 ・フロント低音カットスロープ	THR(通過)/30/60/90/120/150/180/250(Hz) 12/18/24(dB/Oct)	(A)
HPF Center ・センター低音カット周波数 ・センター低音カットスロープ	THR(通過)/30/60/90/120/150/180/250(Hz) 12/18/24(dB/Oct)	(A) (C) (D)
LPF Sub ・サブウーファー高音カット周波数 ・サブウーファー高音カットスロープ	30/60/90/120/150/180/250(Hz) 12/18/24(dB/Oct)	(A)

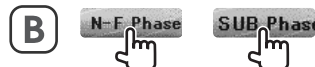
デジタル効果設定画面で次の設定をしている場合は調整できません。

- 条件①：「Sub Woofer」を"OFF"に設定。
- 条件②：「Multi channel」を"3/0"または"2/0"に設定。
<マルチチャンネル信号時>

- 条件③：「Multi channel」を"2/2"または"2/0"に設定している場合。<マルチチャンネル信号時>
- 条件④：「Center SP」を"OFF"に設定している場合。

ノンフェーダー/サブウーファー出力の位相設定

ノンフェーダー出力、またはサブウーファー出力<DVDサラウンドプロセッサ 接続時>の位相を設定します。



タッチするたびに設定が変更されます。

「NORMAL」：正相で出力します。

「REVERSE」：逆相で出力します。

設定のメモリー

クロスオーバー/ディレイ時間の設定を6つまで保存できます。



2秒以上タッチし続けるとメモリーされます。
タッチするとメモリーされた設定を呼び出します。

ディレイ時間設定画面への切り替え



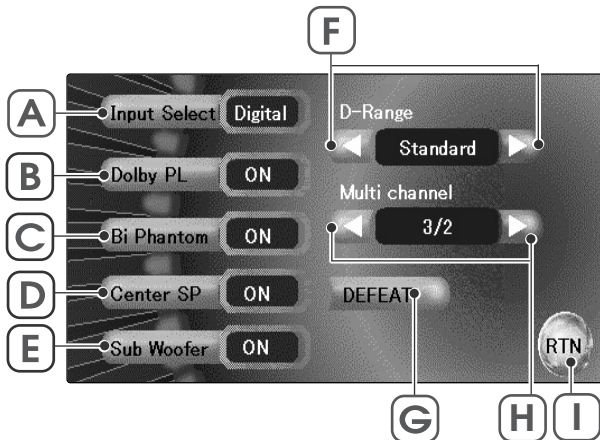
ディレイ時間設定画面に切り替わります。(63ページ)

クロスオーバー設定画面を終了する



オーディオ設定メニュー画面に戻ります。

デジタル効果設定画面を操作する



信号入力の設定

サラウンドプロセッサーに入力する信号形態を選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。
「Digital」：光デジタルで入力します。
「Analog」：アナログ信号で入力します。

ドルビープロロジックで聴く



タッチするたびにドルビープロロジック機能のオン/オフをします。

● 2 ch PCM信号入力時に有効になります。

バイファントム機能のオン/オフ

センターチャンネルの信号を正確に定位するようにコントロールします。



タッチするたびにバイファントム機能のオン/オフをします。

● 「Dolby PL」の設定が「OFF」の場合は操作できません。

センタースピーカーのオン/オフ



タッチするたびにセンタースピーカーの音声が入オン/オフします。

● 2 ch PCM信号入力時に有効になります。

サブウーファースのオン/オフ



タッチするたびにサブウーファースの音声がオン/オフします。

ダイナミックレンジの選択

ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジを圧縮します。



タッチするたびに設定が変更されます。
「Standard」：大きい音を抑圧します。
「OFF」：通常のダイナミックレンジになります。

マルチチャンネルの選択

マルチチャンネル音声を聴くスピーカーを選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。
「3/2」：センター/フロント/リアスピーカー
「2/2」：フロント/リアスピーカー
「3/0」：センター/フロントスピーカー
「2/0」：フロントスピーカーのみ

設定を初期値に戻す

クロスオーバー/ディレイ時間の設定を初期値に戻します。



● ポジションの設定も「ALL」になります。

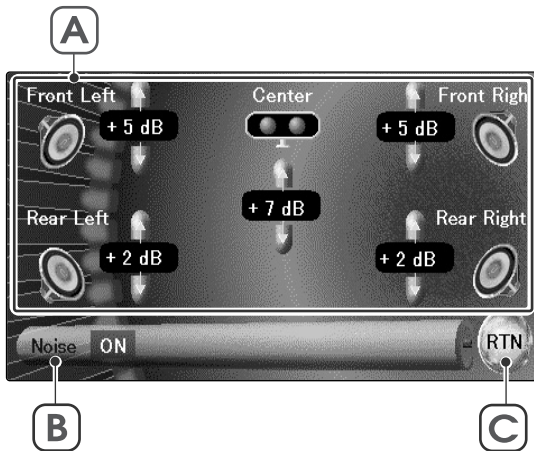
デジタル効果設定画面を終了する



オーディオ設定メニュー画面に戻ります。

オーディオ/サラウンド/DSPの設定

■ チャンネルレベル設定画面を操作する



テスト信号のオン/オフ

チャンネルレベルを設定するためのテスト信号を各チャンネル順に2秒間隔で出します。

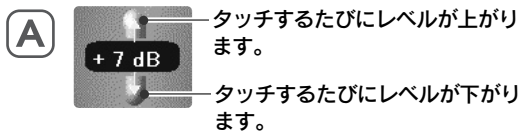


タッチするたびにテスト信号がオン/オフします。

● テスト信号を出しているときは、デジタル効果設定画面、クロスオーバー設定画面、ポジション設定画面、およびパラメトリックイコライザー画面は操作できません。

チャンネルレベルの設定

5チャンネルの音量レベルを合わせます。



各チャンネルの音量が同じになるように調整します。

Front Left : 前左側スピーカーのレベル調整

Front Right : 前右側スピーカーのレベル調整

Rear Left : 後左側スピーカーのレベル調整

Rear Right : 後右側スピーカーのレベル調整

Center : センタースピーカーのレベル調整

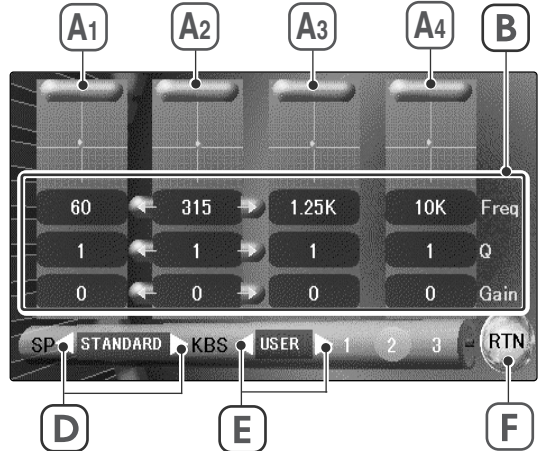
- 「Rear Left」 / 「Rear Right」の調整は、デジタル効果設定画面の「Multi channel」を「3/0」または「2/0」に設定しているときは調整できません。
- 「Center」の調整は、デジタル効果設定画面の「Multi channel」を「2/2」または「2/0」に設定しているとき、「Center SP」を「OFF」に設定しているときは調整できません。

チャンネルレベル設定画面を終了する



オーディオ設定メニュー画面に戻ります。

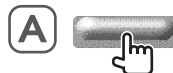
■ パラメトリックイコライザー設定画面を操作する



パラメトリックイコライザーの調整

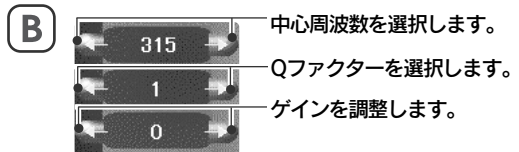
イコライザーの中心周波数、Qファクター、ゲインを調整します。

調整するボックスをえらびます



調整したいボックスにタッチします。

調整します



選べる中心周波数は一番から以下になります。

A1 : 60/80/100/120/160/200/250(Hz)

A2 : 315/400/500/630/800/1k(Hz)

A3 : 1.25k/1.6k/2k/2.5k/3.15k/4k(Hz)

A4 : 5k/6.3k/8k/10k/12.5k/16k(Hz)

選べるQファクターは以下になります。

1(0.25) / 2(0.5) / 3(1.0) / 4(2.0)

● センタースピーカー、およびサブウーファー出力にはイコライザー効果はかかりません。

スピーカー設定

イコライザーの設定を車両のスピーカーに合わせます。



タッチするたびに設定が変更されます。

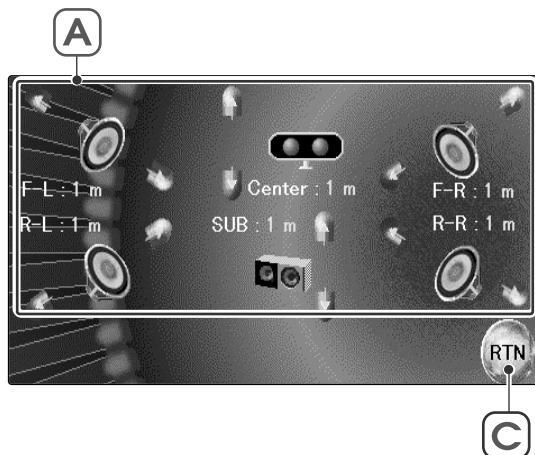
「STANDARD」: 標準的なスピーカーに合わせた設定。

「NORROW」: 周波数帯域の狭いスピーカーに合わせた設定。

「WIDE」: 低音域がよく出る大型スピーカーに合わせた設定。

「MIDDLE」: 低音域があまり出ない小型スピーカーに合わせた設定。

■ デイレイ時間設定画面を操作する



プリセットイコライザーの選択

予めプリセットされた音質を選択します。



タッチするたびに設定が変更されます。



設定のメモリー

自分で調整した設定を3つまで保存できます。



2秒以上タッチし続けるとメモリーされます。
タッチするとメモリーされた設定を呼び出します。

デイレイ時間の調整

各スピーカーから視聴位置に音が届くまでの時間を調整します。



中心方向の矢印キーにタッチするたびに、デイレイ時間が短くなります。

外側方向の矢印キーにタッチするたびに、デイレイ時間が長くなります。

- F-L : 前左側スピーカーのデイレイ時間調整
- F-R : 前右側スピーカーのデイレイ時間調整
- R-L : 後左側スピーカーのデイレイ時間調整
- R-R : 後右側スピーカーのデイレイ時間調整
- Center : センタースピーカーのデイレイ時間調整
- SUB : サブウーファースのデイレイ時間調整

- 「R-L」/「R-R」の調整は、デジタル効果設定画面の「Multi channel」を「30」または「20」に設定しているときは調整できません。
- 「Center」の調整は、デジタル効果設定画面の「Multi channel」を「22」または「20」に設定しているとき、「Center SP」を「OFF」に設定しているときは調整できません。
- 「Sub」の調整は、デジタル効果設定画面の「Sub Woofer」を「OFF」に設定しているときは調整できません。

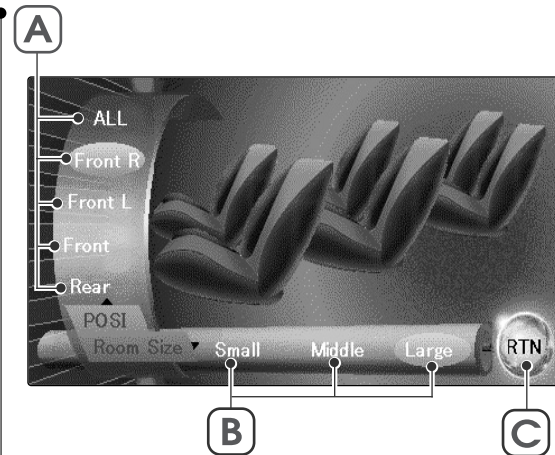
デイレイ時間設定画面を終了する



クロスオーバー設定画面 (60ページ) に戻ります。

オーディオ/サラウンド/DSPの設定

■ ポジション設定画面を操作する



ポジションの選択

聴く位置に合わせた設定にします。



- 「ALL」：車室の中央が音場の中心になる。
- 「Front R」：前部右座席が音場の中心になる。
- 「Front L」：前部左座席が音場の中心になる。
- 「Front」：前部座席の中央が音場の中心になる。
- 「Rear」：後部座席の中央が音場の中心になる。

● バランス/フェダー調整が中央位置になっていないと、正しいサラウンドやDSP効果が得られません。ポジションを設定するときは、バランス/フェダーを中央にしてください。

ルームサイズ設定

車内のスピーカーの位置、室内サイズに合わせた設定にします。



- 「Small」：コンパクトカーなど、フロントスピーカーとリアスピーカーの距離が近い場合。
- 「Middle」：セダン車などの場合。
- 「Large」：1BOX、RV車など、フロントスピーカーとリアスピーカーの距離が離れている場合。

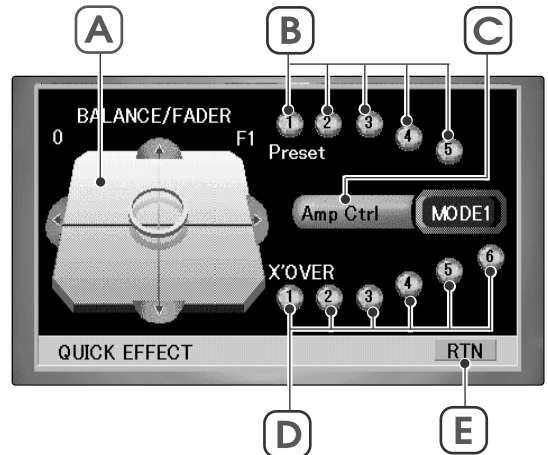
● ポジション切り替えがALLに設定されているときはルームサイズは調整できません。

ポジション設定画面を終了する



オーディオ設定メニュー画面に戻ります。

■ クイックエフェクト画面を操作する



バランス/フェダーの調整

Callout A: 左右のキーでバランスを調整、上下キーでフェダーを調整します。(58ページ参照)

● DVDサラウンドプロセッサやDSPユニット接続時はセンターにしてください。

イコライザー設定のメモリー呼び出し



DBイコライザー/パラメトリックイコライザー/DSPイコライザー画面に保存した設定を呼び出します。

● 表示するキーの数は各イコライザー画面のメモリーキー数と同じです。

クロスオーバー設定のメモリー呼び出し

<DVDサラウンドプロセッサ" DS-01 " 接続時>



クロスオーバー/ディレイ時間設定画面に保存した設定を呼び出します。

外部アンプコントロールのモード切り替え



タッチするたびに設定が変更されます。(58ページ参照)

クイックエフェクト画面を終了する



ソースコントロール画面に戻ります。

DSPコントロール画面を操作する

DSPの機能や設定できる内容はDSPユニット"P707"/"X909"/"X707"/"D909"/"D707"付属の取扱説明書をご覧ください。

DSPメニュー画面

DSP設定のメモリー

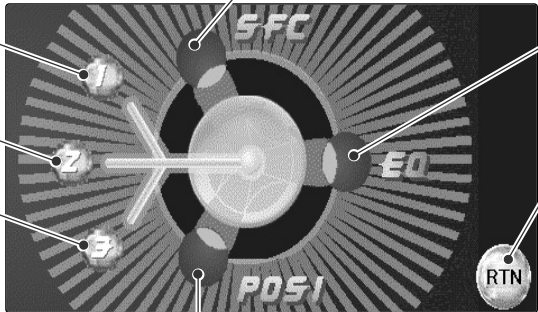
- 2秒以上タッチし続けると、現在のDSP設定を保存します。
- タッチすると、保存したDSP設定を呼び出します。

SFC設定画面の表示
タッチすると、SFC設定画面に切り替わります。

イコライザー設定画面の表示
タッチすると、イコライザー設定画面に切り替わります。

DSP設定の終了
タッチすると、オーディオ設定メニュー画面に戻ります。

ポジション設定画面の表示
タッチすると、ポジション設定画面に切り替わります。(64ページ参照)



SFC設定画面

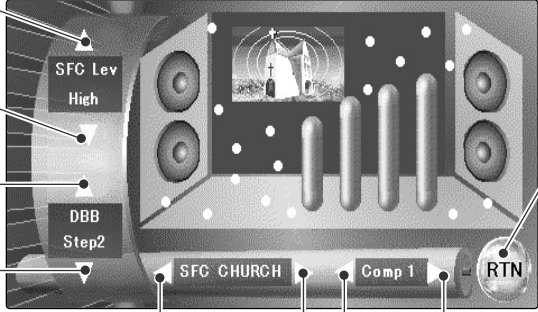
SFCレベルの調整
タッチすると、SFCレベルがかわります。

バスブーストレベルの調整
タッチすると、バスブーストレベルがかわります。

SFC設定の終了
タッチすると、DSPメニュー画面に戻ります。

SFCモードの切り替え
タッチすると、SFCモードが切り替わります。

コンプレッションレベルの調整
タッチすると、コンプレッションレベルがかわります。



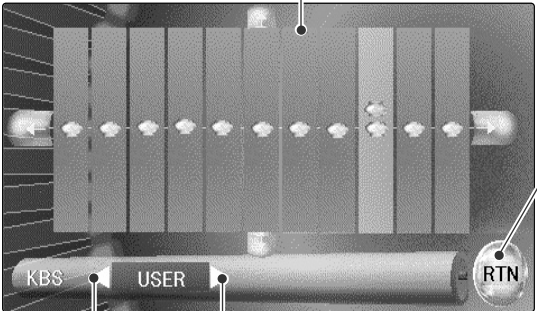
イコライザー設定画面

イコライザーカーブの調整

- 左右のキータッチにして、調整する中心周波数を選びます。
- 上下のキータッチにして、レベルを調整します。

SFC設定の終了
タッチすると、DSPメニュー画面に戻ります。

イコライザーモード切り替えの切り替え
タッチすると、イコライザーモードが切り替わります。



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線の間違いで故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、次の項目をチェックしてください。

■ 共通/テレビ/FM-AM

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(62ページ)を見て正しく接続してください。

モニターがオープンしない/モニターにテレビやビデオの映像が出ない

- パーキングブレーキが引かれていない。

- パーキングブレーキを引かないとモニターはオープンしません。
- パーキングブレーキを引かないとテレビやビデオ(DVD/VCD含む)の映像は見ることはできません。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。

- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。

操作スイッチを押しても動作しない

- 内蔵のマイコンが誤動作している。

リセットボタンを押してください。(4ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

TVやFM/AMチューナーの感度が悪い

- アンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。(FM/AM)
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「取付説明書」を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

■ DVD/VCD/CD

DVDモードを選んでも再生しない

- ディスクがセットされていない。
- ディスクを裏返しに入れている。
- ディスクが汚れている。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
- 視聴制限がされている。

- プレイするディスクをセットしてください。
- ディスクを確認し、ラベル印刷面を上にして入れる。
- 「ディスクお手入れ」を見てクリーニングしてみてください。
- 再生できるディスクを確認してください。
- 視聴制限を解除、または規制レベルを変更する。

ディスクが入らない

- すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

映像が乱れる

- 早送り/早戻している。

多少乱れることがありますが、故障ではありません。

ディスクのプレイ中に振動で映像/音が切れる

- 取り付け角度が30°を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30°以下になるように取り付けなおしてください。
- しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない

- 複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。

メニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクの取扱説明書をご覧ください。

同じ曲しかプレイしない/曲の先頭しかプレイされない/選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

- リピートプレイ機能がオンになっている。
- スキャンプレイ機能がオンになっている。
- ランダムプレイ機能がオンになっている。

機能をオフにしてください。
外部CDプレーヤーやディスクチェンジャーでも同様です。

CD-R、CD-RWがプレイできない

- ファイナライズ処理を行っていない。
- CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

- CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
- CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

■ MP3-CDプレーヤーコントロール時

MP3ディスク/MP3ファイルがプレイできない

- ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。
- MP3ファイルに拡張子が付いてない。
- ディスクに傷や汚れがある。

- ISO9660 level1/2に準拠したディスクを使用してください。
- MP3ファイルに拡張子“.MP3”を付けてください。
- 「ディスクの取り扱い」を見て、ディスクをクリーニングしてください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

- ISO9660 level1/2に準拠して記録されていない。
- ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。

- ISO9660 level1/2に準拠したディスクを使用してください。
- ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

MP3ディスクをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

MP3ファイル以外に拡張子が付いている。

MP3ファイル以外に“.MP3”拡張子は付けなくてください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

MP3ファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

—

MP3ディスクをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているディスクを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3ファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

● システムの接続に異常があるときは以下の表示でお知らせします。

BUS-E50 : センターユニットが2台以上接続されている。

BUS-E11 : DSPユニット2台接続されている。

EJECT : ディスクチェンジャーにマガジンが入っていない、またはマガジンが完全に入っていない。

Hot Error : 本機内部の温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
⇨ 取り付け場所の温度を下げれば、しばらくのちに表示は消えます。

Mecha Error : 本機内部ディスクプレーヤー部が正しく動作していない。
⇨ 一度ディスクを取り出して、再度挿入して下さい。それでも表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービスへお問い合わせ下さい。

Disc Error : 本機で再生できないディスクを入れた。
⇨ 再生できるディスクを入れてください。

Read Error : ●ディスクが裏返しになっている。
⇨ レーベル面を上にして再度入れ直してください。
●ディスクが異常に汚れている。
⇨ ディスクをクリーニングしてみてください。

Rigion code Error : 本機で再生できないリージョン番号のディスクを入れた。
⇨ 再生できるリージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れてください。

Parental level Error : 本機で設定した視聴規制レベルより高い映像箇所を再生した。

Error 07 - 67 : 何らかの原因でエラーが起きている。
⇨ 一度リセットボタンを押してみてください。それでも表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービスへお問い合わせ下さい。

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思った」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料**：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代**：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

(東京) 電話:(03)3477-5335 FAX:(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話:(06)6394-8085 FAX:(06)6394-8308 〒534-0024 大阪市淀川区野中北2-1-22

受付時間：9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)